



JIS CE0308014 JIS A 6008 合成高分子系ルーフィングシート

建築用防水シート総合案内

バンドーシート・繊維補強シート

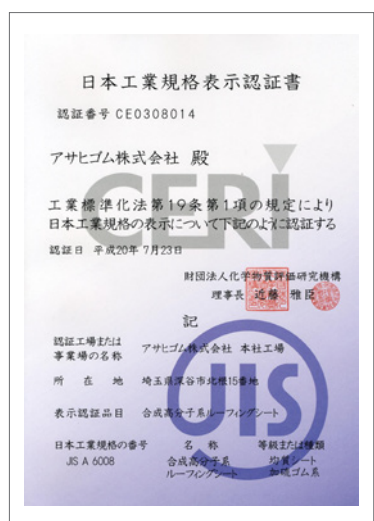


パーカー・アサヒ 株式会社

INDEX

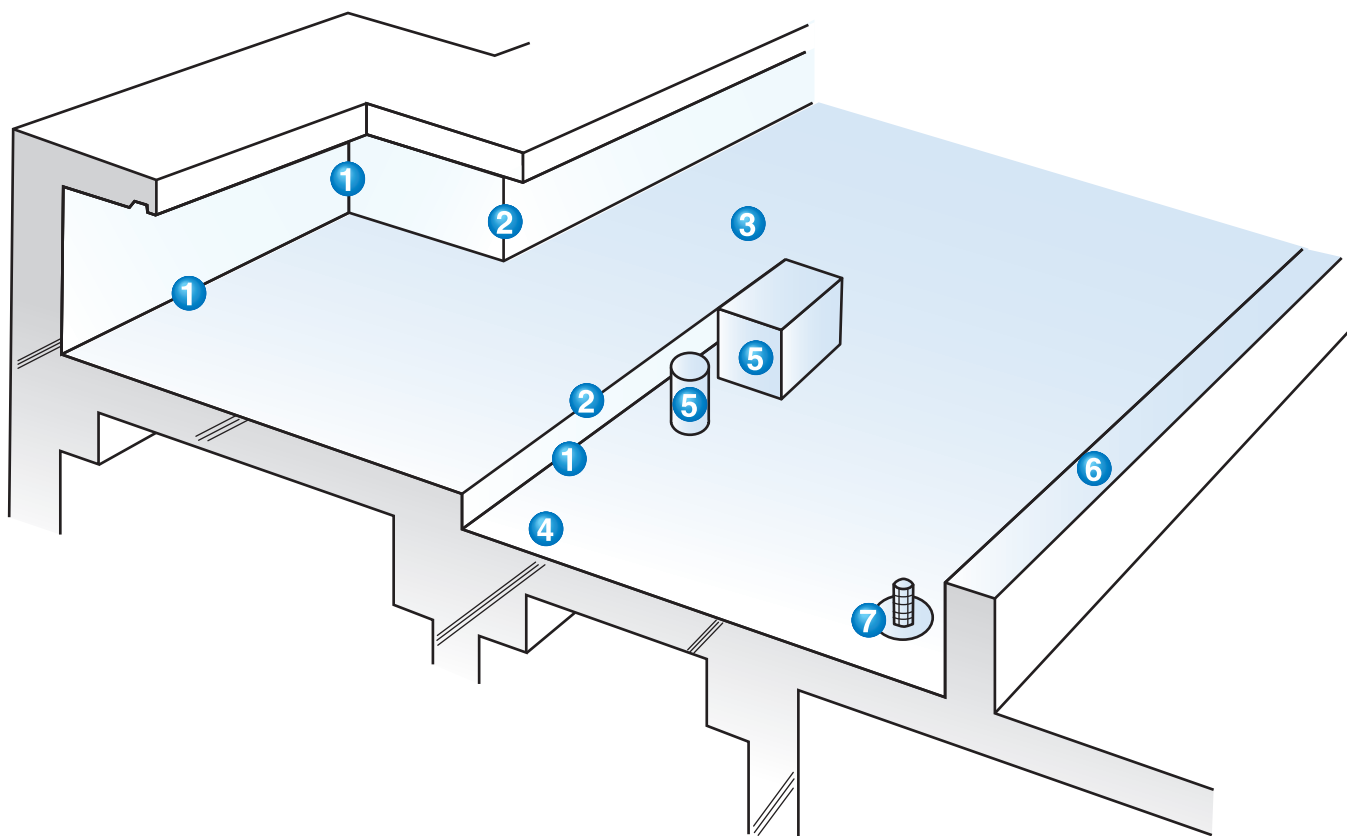
はじめに	2
バンドーシート防水工法設計上のお願い	3
バンドーシート標準防水工法仕様一覧	4・5
シート防水材一覧	
バンドーシート	6
バンドーシートCDE	7
バンドーシートSM-II	8
繊維補強シート	9
バンドーシート標準工法	
NH-1工法／NH-2工法／K工法	10
NHD工法／HW工法／HSDW工法	11
SM-II工法／通気テープ工法	12・13
繊維補強シート標準工法	
BK-1工法	14
BK-1K工法／BK-1D工法	15
FV-101工法／FV-102工法／FV-201工法	16
FV-401工法／FV-301W工法／FV-501DW工法	17
施工手順	
NH-1工法	18・19
BK-1工法	20・21
バンドーシート標準納まり図(例)	22～25
繊維補強シート標準納まり図(例)	26・27
固定方法	28
耐風圧力の計算	29
副資材一覧	30
副資材	
下地調整材／プライマー	31
接着剤／テープ状シール材・シーリング材	32
補強貼りシート／絶縁シート	33
シート固定金具	34・35
仕上げ塗料	36
成形品／断熱材	37
脱気筒／通気テープ	38
押え金物(例)	39
防水保護マット	40
取り扱い上の注意	41

いつの時代にも企業は
社会や人間生活と深くかかわることによって
その存在意義を確立してきました。
「人」と「環境」の調和、快適な空間づくりが
ますます求められる時代となっています。
当社が防水分野に果たす「役割」と「貢献」。
現在と未来を見つめ社会に貢献することが
私たちの願いです。

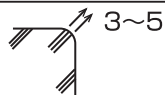
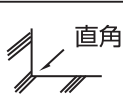


バンドーシート防水工法設計上のお願い

- ① 入 隅 スラブの入隅及び立上り面の入隅は通りよく直角とします。
- ② 出 隅 スラブの出隅及び立上り面の出隅は通りよく丸面取り(R=5mm)とします。
- ③ 表 面 金ゴテを用いて平滑に仕上げます。
- ④ 水 勾 配 コンクリート下地で確保します。(露出工法 $1/20 \sim 1/50$ 、押え工法 $1/50 \sim 1/100$)
- ⑤ 貫通パイプ いずれもパラペットから300mm以上離れた位置に設置します。
構 造 物 特に貫通パイプが数本隣接している場合はひとつにまとめてパイプスペースを設置します。
- ⑥ パラペット部 パラペット部の高さは、水上で300mm以上取ります。
- ⑦ ルーフドレン 縦型のシート防水用ドレンを使用しスラブ面より低くパラペットから300mm以上離れた位置に設置します。



下地の出・入隅の形状

平面での出隅 立上がり部での出隅	面取り	 3~5	平面での入隅 立上がり部での入隅	直角	 直角
---------------------	-----	---	---------------------	----	--

バンドーシート標準防水工法仕様一覧

バンドーシート

	密着		
適 用	非歩行用		軽歩行用
工 法	NH-1	NH-2	K
仕 様	露出 一層防水	露出 一層防水	露出 一層防水
適用下地	RC PCa	ALC※	RC PCa
KRK工法名	RV-F101	RV-F102	RV-F201
国土交通省仕様	S-F1	S-F1	S-F1
JASS8仕様 ^{注)}	S-RF	S-RF	S-RF
掲載ページ	P10	P10	P10

注)JASS8仕様は接着剤の塗布量が変わります。

繊維補強シート

	機械的固定		
適 用	非歩行用	軽歩行用	非歩行用断熱
工 法	BK-1	BK-1K	BK-1D
仕 様	露出 一層防水	露出 一層防水	断熱露出 一層防水
適用下地	RC PCa	RC PCa	RC PCa
KRK工法名	RV-M101	RV-M201	RV-M401
国土交通省仕様	S-M1	S-M1	SI-M1
JASS8仕様 ^{注)}	S-RM	S-RM	S-RMT
掲載ページ	P14	P15	P15

注)JASS8仕様は接着剤の塗布量が変わります。

非歩行用断熱	歩行用	歩行用断熱	非歩行用通気断熱	非歩行用通気
NHD	HW	HSDW	SM-II	通気テープ工法
断熱露出 一層防水	押え 二層防水	保護断熱押え 二層防水	断熱露出 一層防水	露出 一層防水
RC・PCa ALC※	RC PCa	RC PCa	RC・PCa ALC※	RC・PCa ALC※
RV-F401	RV-F301W	RV-F501DW	RV-F401	—
SI-F1	—	—	SI-F1	—
S-RFT	—	—	—	—
P11	P11	P11	P12	P12

※下地調整が必要です。

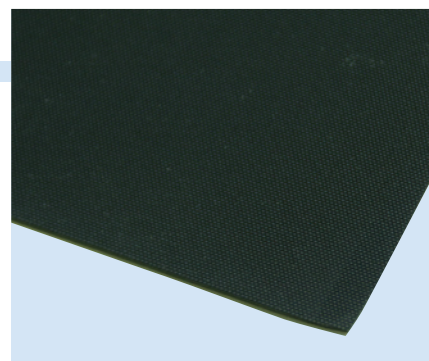
密着					
非歩行用		軽歩行用	非歩行用断熱	歩行用	歩行用断熱
FV-101	FV-102	FV-201	FV-401	FV-301W	FV-501DW
露出 一層防水	露出 一層防水	露出 一層防水	断熱露出 一層防水	押え 二層防水	保護断熱押え 二層防水
RC PCa	ALC※	RC PCa	RC・PCa ALC※	RC PCa	RC PCa
RV-F101	RV-F101	RV-F201	RV-F401	RV-F301W	RV-F501DW
S-F1	S-F1	S-F1	SI-F1	—	—
S-RF	S-RF	S-RF	S-RFT	—	—
P16	P16	P16	P17	P17	P17

※下地調整が必要です。

シート防水材一覧

バンドーシート

EPDMを主成分とするJISA6008に適合した加硫ゴムルーフィングシートで
耐候性、耐オゾン性や耐熱性、耐寒性さらに耐アルカリ性など
優れた特長を備えております。



シート構成



サイズ

厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(m)	重量
1.0	1,200	20	24.5kg/本
1.2		20 (10,15)	30.3kg/本
1.5		15	29.0kg/本
2.0		10	26.8kg/本

※()につきましては受注生産となります。

特長

- ① 耐候性、耐熱性、耐寒性、耐オゾン性に優れています。
- ② 耐水性に優れています。
- ③ 接着性に優れています。
- ④ シート表面は均一で美観に優れています。
- ⑤ 繰返し伸縮性に優れています。

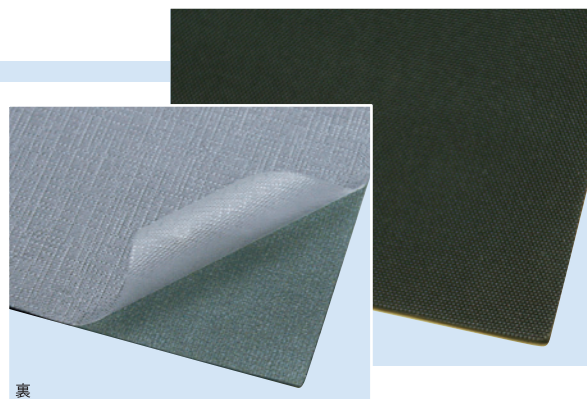
施工工程



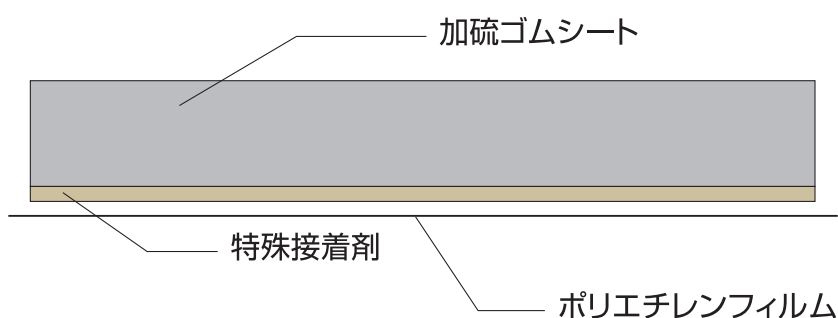
離型紙がついているので位置決めが簡単、施工もラクラク !!

バンドーシートCDE

バンドーシートCDEはJIS A 6008合成高分子系ルーフィングシート(均質加硫ゴム)に適合したバンドーシートの片面に、あらかじめ特殊接着剤を塗布した防水シートです。



シート構成



サイズ

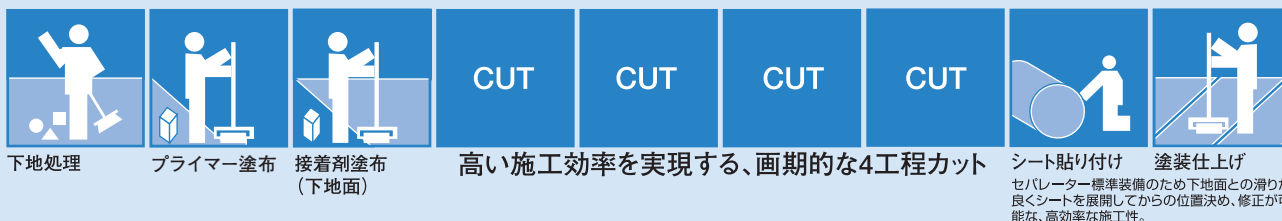
厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(m)	重量
1.0	1,200	20	26.8kg/本
1.2		20 (10.15)	32.6kg/本
1.5		15 (10)	30.7kg/本
2.0		10	28.0kg/本

※ () につきましては受注生産となります。

特長

- ①施工効率が良い
シート面に接着剤を塗布する必要がありませんので、手待ちになることがありません。
- ②強風時でも施工が容易です
バンドーシートCDEを使用する事によって下地面のみに接着剤を塗るだけでよく、狭い所、強風時でも容易に施工できます。
- ③安定した施工品質が得られます
シート面にあらかじめ特殊接着剤を塗布してありますので安定した施工品質を確保する事ができます。
- ④セパレーターはセンタースリット加工
セパレーターの中央部にスリット加工してあり、容易に施工できます。

施工工程



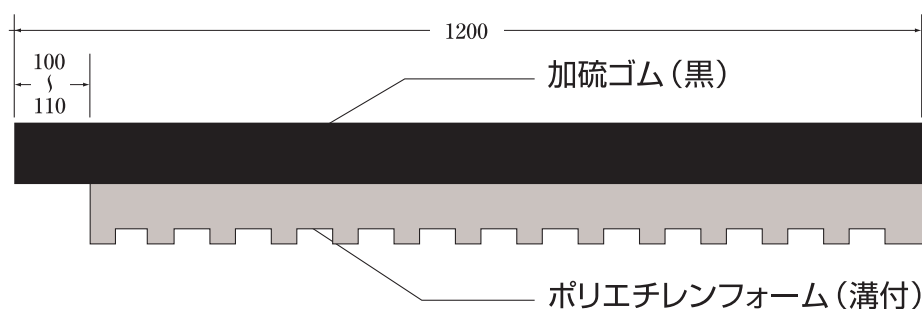
セパレーター標準装備のため下地面との滑りが良くシートを展開してからの位置決め、修正が可能です、高効率な施工性。

シート防水材一覧

SA1240

加硫ゴムシートの裏面に溝付ポリエチレンフォームを積層させた商品で、下地に対する緩衝効果と下地からの気化した水分を脱気筒を用いることで防水層の外に排出することにより、フクレをおこりにくくするシートです。

シート構成



サイズ

総厚 (mm)	加硫ゴム層厚 (mm)	通気緩衝層厚 (mm)	幅 (mm)	長さ (m)
5.2	1.2	4.0	1,200	20

※加硫ゴム層物性は均質加硫ゴム系

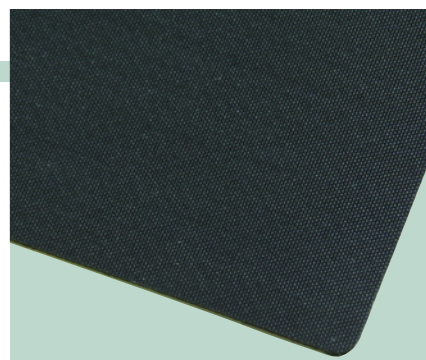
特長

- ①膨れが起きにくい
下地水分の水蒸気圧を分散するため、下地に多少の水分を含んでいても膨れが起きにくく、また、脱気筒を設けることによりその効果はさらに大きくなります。(50㎡～100㎡に1箇所目安)
- ②下地の不陸を緩衝
積層された発泡層によって下地に多少の凹凸がある場合でも緩衝し易く、また下地の亀裂に追従するため、ゼロスパンテンションになりやすく応力を拡散します。

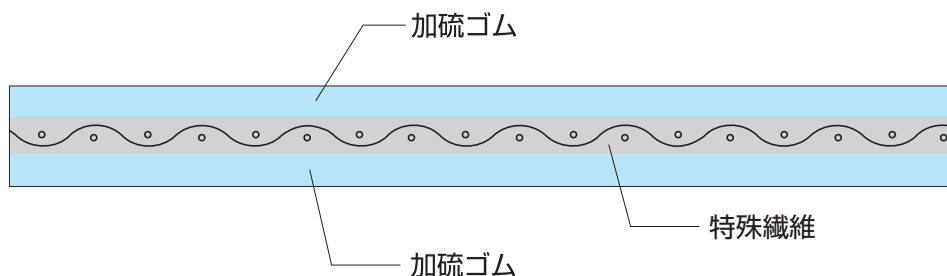
シート防水材一覧

繊維補強シート

繊維補強シートはEPDMを主成分とする加硫ゴムルーフィングシートを特殊繊維で補強し、信頼性をより一層高めた複合タイプのシートです。JIS A 6008合成高分子系ルーフィングシート複合タイプの規格に適合。耐候性はもちろん、耐引裂性等にも優れています。従来の密着工法に加え、機械的固定工法をおこなうことができる信頼性を高めた複合加硫ゴムシートです。



シート構成



サイズ

厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(m)
1.5	1,200	15

特長

①機械的固定工法

機械的固定工法を行うことにより、既存防水層の撤去が少なく済みす。
エア式ビス止め方式の場合、施工時の騒音が低く施工効率も大幅に向上、工期を短縮できます。

②環境に優しい

機械的固定工法を行うことにより、廃棄物の発生を最小限に抑えられます。
機械的固定工法を行うことにより全面接着工法と比較して、有機溶剤の使用量が極めて少なく済みす。

③信頼性の高い素材

繊維補強シートは工場です熱処理(加硫)していることから長期寸法安定性が優れています。

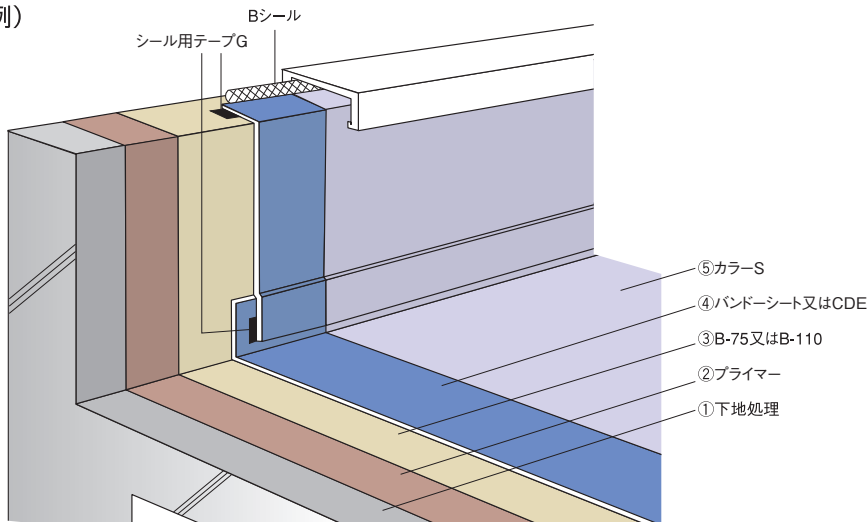
④鳥害

特殊繊維を入れることにより、耐引裂性が大幅に改善され、鳥害に対し強くなります。

バンドーシート標準工法

NH-1工法（非歩行用）

（施工例）



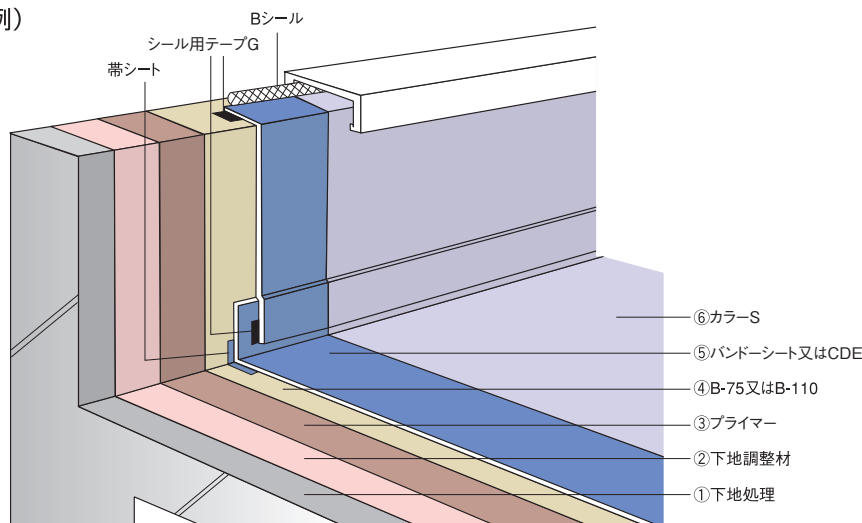
防水工程

1	下地処理	清 掃
2	プライマー	0.2kg/㎡
3	B-75又はB-110	下地面 0.2kg/㎡ シート面0.2kg/㎡
4	バンドーシート又はCDE	1.1㎡/㎡
5	カラー-S	0.25kg/㎡

※バンドーシートCDEを使用する場合は
下地面のみ0.2kg/㎡塗布します。

NH-2工法（非歩行用）

（施工例）



防水工程

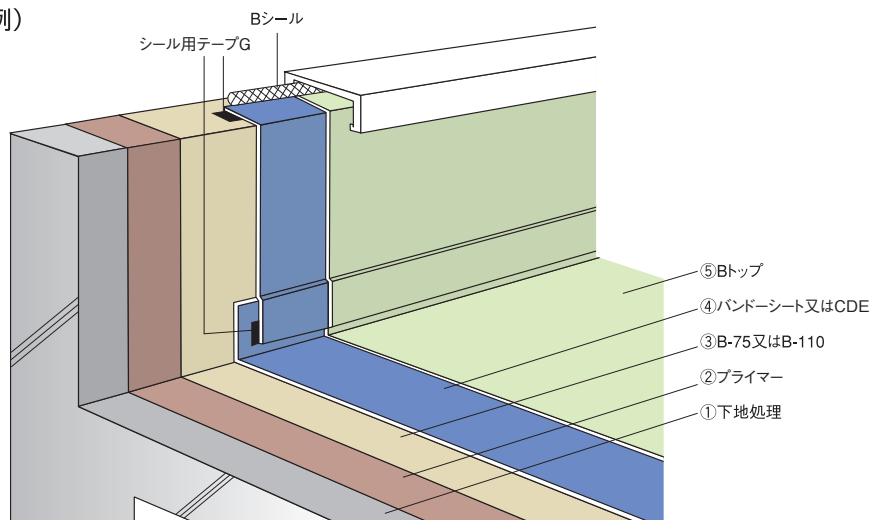
1	下地処理	清 掃
2	下地調整材 目地処理入隅補強	—
3	プライマー	0.2kg/㎡
4	B-75又はB-110	下地面 0.2kg/㎡ シート面0.2kg/㎡
5	バンドーシート又はCDE	1.1㎡/㎡
6	カラー-S	0.25kg/㎡

※バンドーシートCDEを使用する場合は
下地面のみ0.2kg/㎡塗布します。
A.L.C.の目地部の短辺部にはクラフトテープで
処理します。

※NH-2工法の詳細納りについてはP24を参照
下さい。

K工法（軽歩行用）

（施工例）



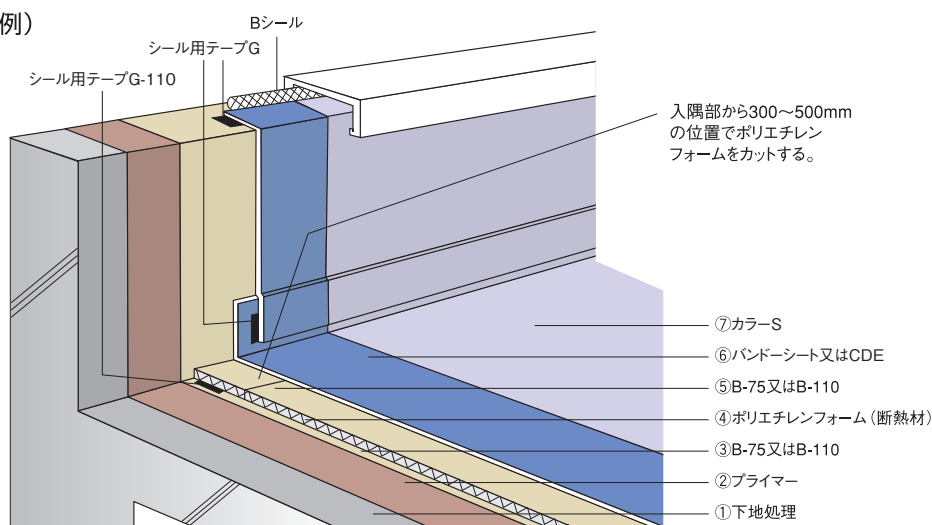
防水工程

1	下地処理	清 掃
2	プライマー	0.2kg/㎡
3	B-75又はB-110	下地面 0.2kg/㎡ シート面0.2kg/㎡
4	バンドーシート又はCDE	1.1㎡/㎡
5	Bトップ	1.0～1.5kg/㎡

※バンドーシートCDEを使用する場合は
下地面のみ0.2kg/㎡塗布します。

NHD工法（非歩行用断熱）

（施工例）



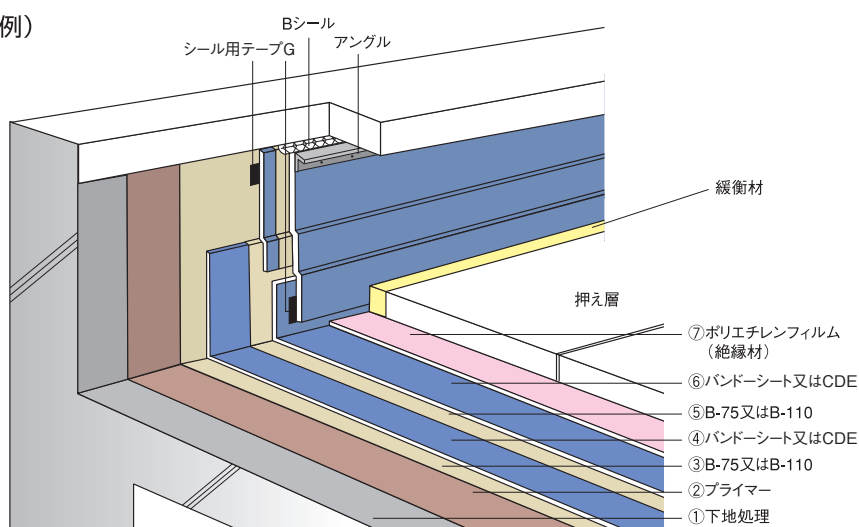
防水工程

1 下地処理	清 掃
2 プライマー	0.2kg/m ²
3 B-75又はB-110	下地面 0.2kg/m ² 断熱材面0.2kg/m ²
4 ポリエチレンフォーム	1.0m/m ²
5 B-75又はB-110	断熱材面0.2kg/m ² シート面0.2kg/m ²
6 バンドーシート又はCDE	1.1m/m ²
7 カラーS	0.25kg/m ²

※バンドーシートCDEを使用する場合は下地面のみ0.2kg/m²塗布します。

HW工法（歩行用）

（施工例）



防水工程

1 下地処理	清 掃
2 プライマー	0.2kg/m ²
3 B-75又はB-110	下地面 0.2kg/m ² シート面0.2kg/m ²
4 バンドーシート又はCDE	1.1m/m ²
5 B-75又はB-110	下シート面0.2kg/m ² 上シート面0.2kg/m ²
6 バンドーシート又はCDE	1.1m/m ²

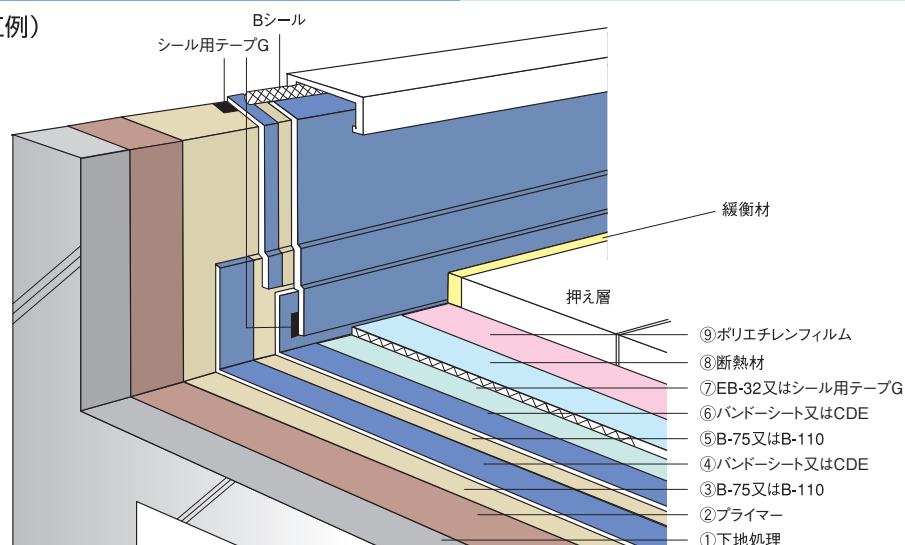
保護仕上げ工程（別途工事）

7 保護モルタル又は絶縁材	塗り厚10～15mm ポリエチレンフィルム又はアスファルトフェルト
8 コンクリート押え	厚 さ 60mm以上

※バンドーシートCDEを使用する場合は下地面のみ0.2kg/m²塗布します。

HSDW工法（歩行用断熱）

（施工例）



防水工程

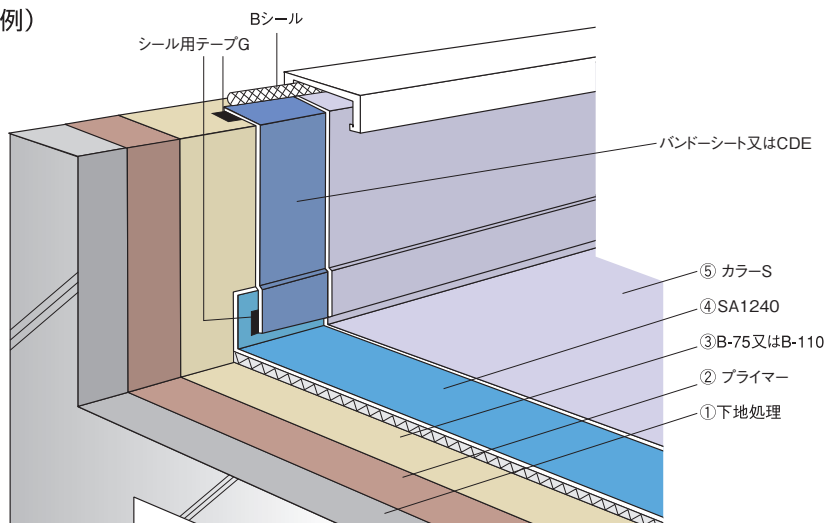
1 下地処理	清 掃
2 プライマー	0.2kg/m ²
3 B-75又はB-110	下地面 0.2kg/m ² シート面0.2kg/m ²
4 バンドーシート又はCDE	1.1m/m ²
5 B-75又はB-110	下シート 0.2kg/m ² 上シート 0.2kg/m ²
6 バンドーシート又はCDE	1.1m/m ²
7 EB-32又はシール用テープG	—
8 断熱材	発泡ポリスチレンフォーム
9 絶縁材	ポリエチレンフィルム又はアスファルトフェルト
10 押え層	別途工事

※バンドーシートCDEを使用する場合は下地面のみ0.2kg/m²、又、2枚目シート貼りは、下シートにのみ0.2kg/m²塗布します。

バンドーシート標準工法

SM-Ⅱ工法（非歩行用通気断熱）

（施工例）



防水工程

1	下地処理	清 掃
2	プライマー	0.2kg/㎡
3	B-75又はB-110	0.4kg/㎡
4	SA1240	1.1㎡/㎡
5	カラーS	0.25kg/㎡

接着剤は

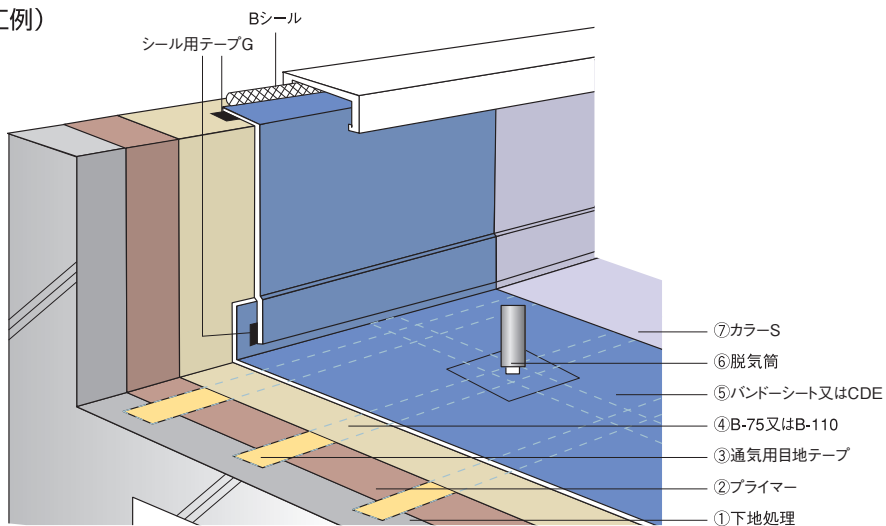
B-75 (B-110) 下地面に0.2kg/㎡

バンドーシートSM-Ⅱ面に0.2kg/㎡

それぞれ塗布し両面接着工法にて行います。

通気テープ工法（非歩行用通気）

（施工例）



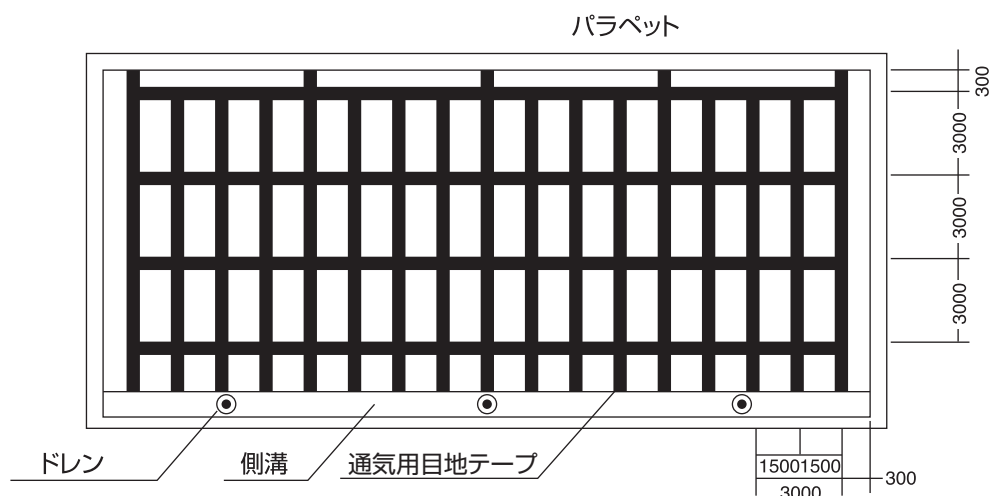
防水工程

1	下地処理	清 掃
2	プライマー	0.2kg/㎡
3	通気用目地テープ	
4	B-75又はB-110	下地面 0.2kg/㎡ シート面 0.2kg/㎡
5	バンドーシート又はCDE	1.1㎡/㎡
6	脱気筒	※
7	カラーS	0.25kg/㎡

※バンドーシートCDEを使用する場合は
下地面のみ0.2kg/㎡塗布します。

※脱気筒は50～100㎡に1ヶ所が目安です。

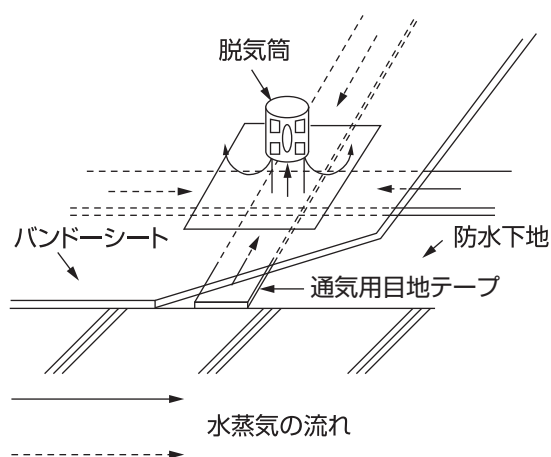
通気用目地テープ敷設例



脱気盤を使用する場合には、上の図のようにシートの下に通気用目地テープ（水分透過率の高いポリエステル不織布）を敷設して下さい。

通気用目地テープを使用する場合の脱気筒取付例

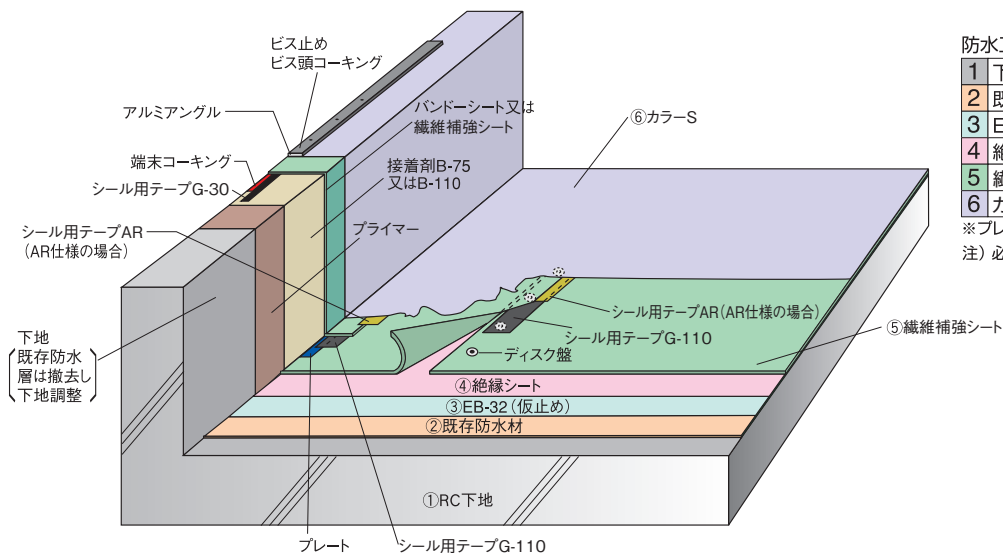
通気用目地テープを下地と防水層の間に一定間隔に設け、その交差部に脱気装置を取り付け、水蒸気を外部に放出する。
脱気装置は50～100㎡につき1箇所の割合で取り付ける。



繊維補強シート標準工法

BK-1工法（機械的固定/非歩行用）

（施工例）



防水工程

1	下地処理	清 掃
2	既存防水材	—
3	EB-32等	仮止め材 注)
4	絶縁シート	—
5	繊維補強シート	1.1㎡/㎡
6	カラーS	0.25kg/㎡

※プレートを使用しない工法もございます。
注) 必要に応じてご使用ください。

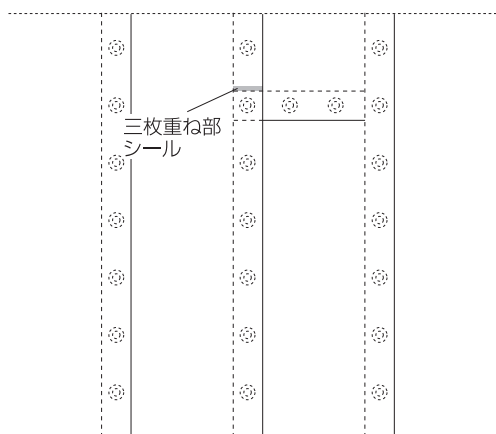
一般平場部固定寸法図

●工法仕様

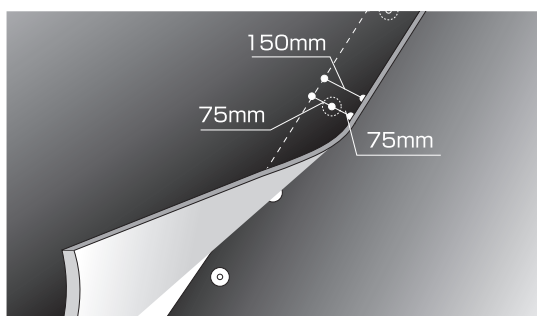
■機械的固定部標準仕様

長辺部：400mm間隔で固定 ※1

短辺部：両端の固定部の間を2箇所固定

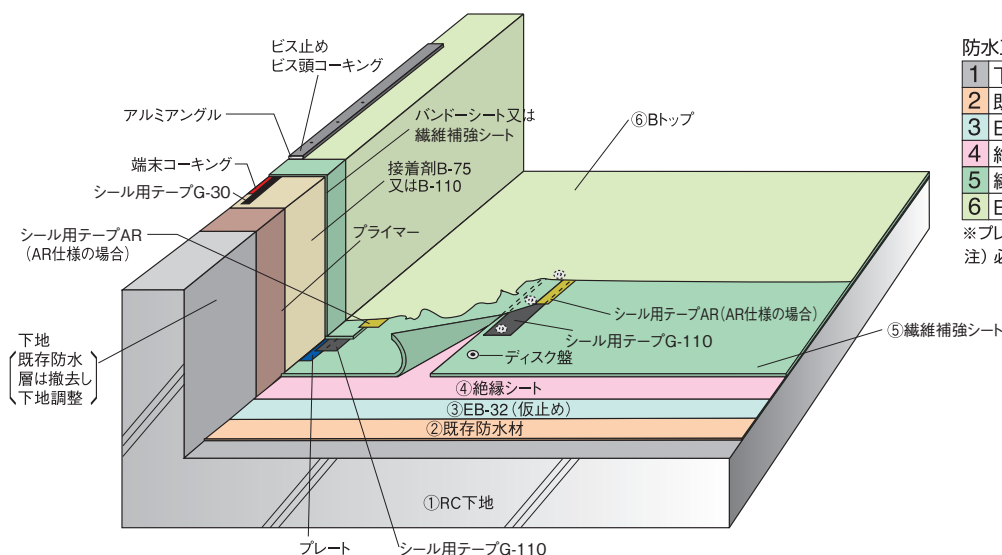


※1 下地条件・建物の条件等により、固定金具のビス長さ及び設置密度は変更します。



BK-1K工法（機械的固定/軽歩行用）

（施工例）



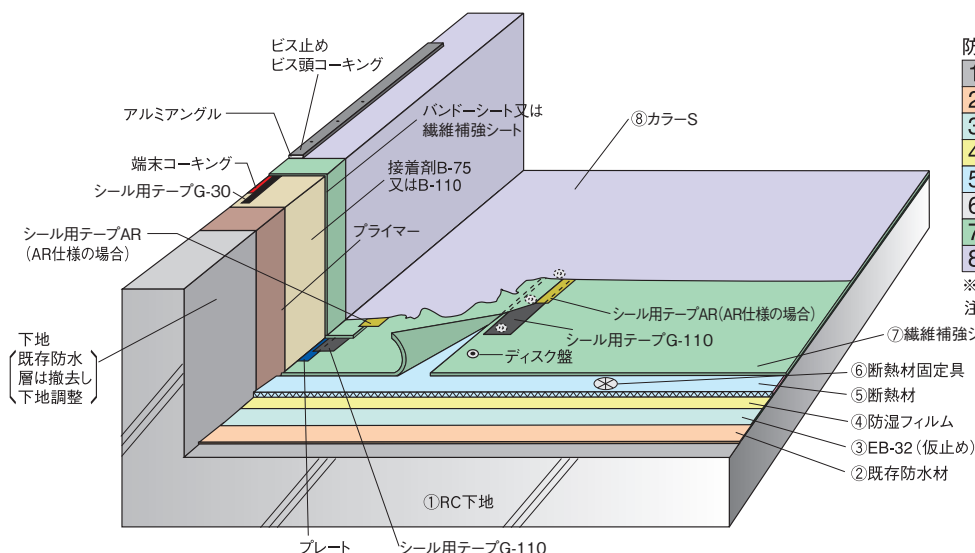
防水工程

1	下地処理	清 掃
2	既存防水材	—
3	EB-32等	仮止め材 ^{注)}
4	絶縁シート	—
5	繊維補強シート	1.1㎡/㎡
6	Bトップ	1.0～1.5kg/㎡

※プレートを使用しない工法もございます。
注) 必要に応じてご使用ください。

BK-1D工法（機械的固定/非歩行断熱）

（施工例）



防水工程

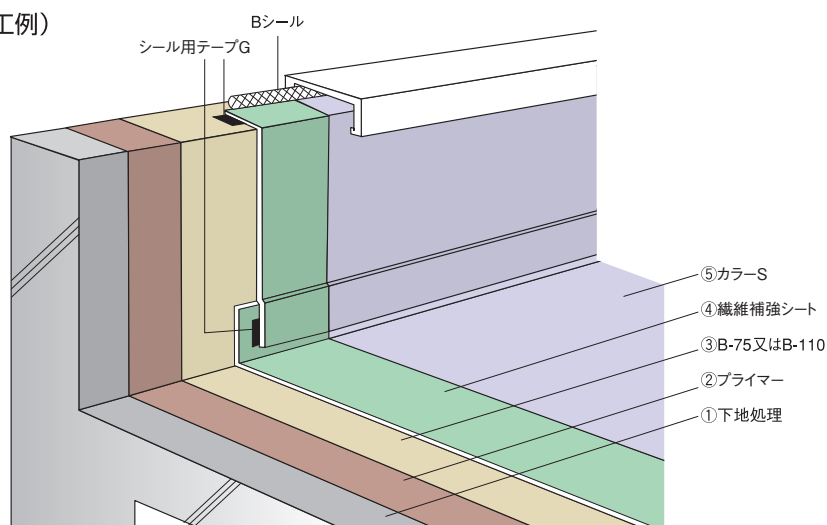
1	下地処理	清 掃
2	既存防水材	—
3	EB-32等	仮止め材 ^{注)}
4	防湿フィルム	—
5	断熱材	—
6	断熱材固定具	—
7	繊維補強シート	1.1㎡/㎡
8	カラーS	0.25kg/㎡

※プレートを使用しない工法もございます。
注) 必要に応じてご使用ください。

繊維補強シート標準工法

FV-101工法（非歩行用）

（施工例）

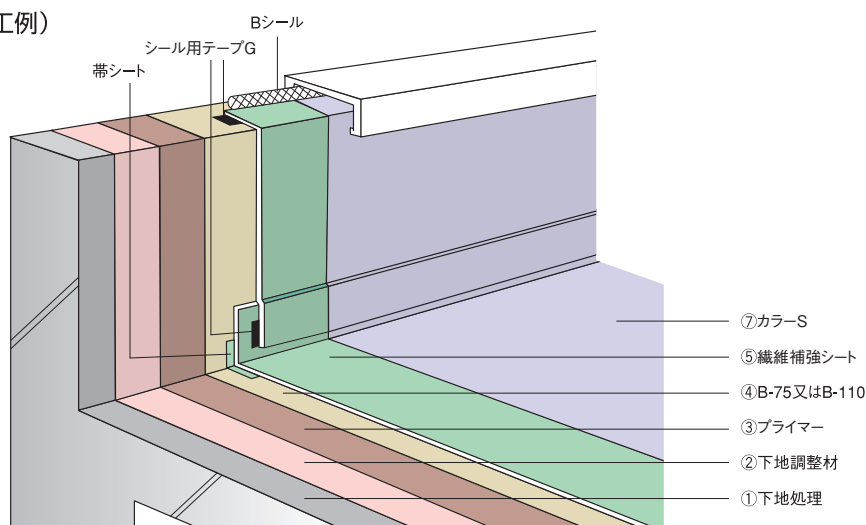


防水工程

1 下地処理	清 掃
2 プライマー	0.2kg/㎡
3 B-75又はB-110	下地面 0.2kg/㎡ シート面0.2kg/㎡
4 繊維補強シート	1.1㎡/㎡
5 カラーS	0.25kg/㎡

FV-102工法（非歩行用）

（施工例）



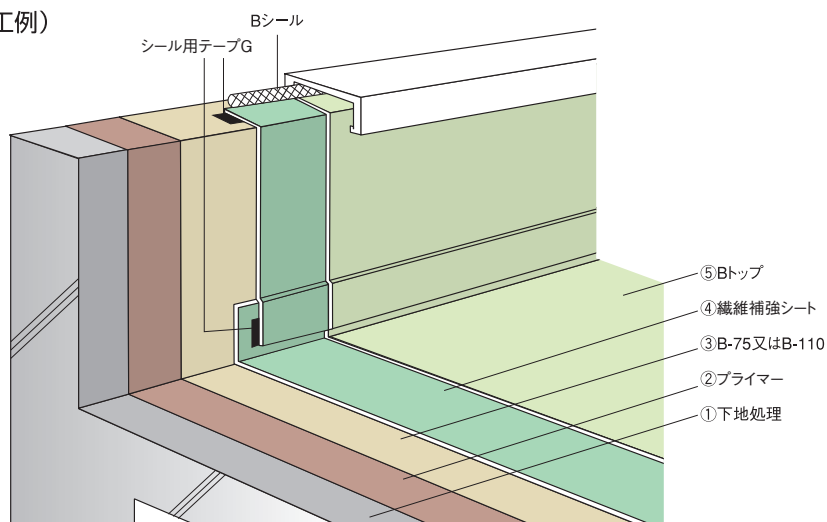
防水工程

1 下地処理	清 掃
2 下地調整材	—
3 プライマー	0.2kg/㎡
4 B-75又はB-110	下地面 0.2kg/㎡ シート面0.2kg/㎡
5 繊維補強シート	1.1㎡/㎡
6 入隅部帯シート処理	—
7 カラーS	0.25kg/㎡

A.L.C.の目地部の短辺部はクラフトテープで処理します。

FV-201工法（軽歩行用）

（施工例）

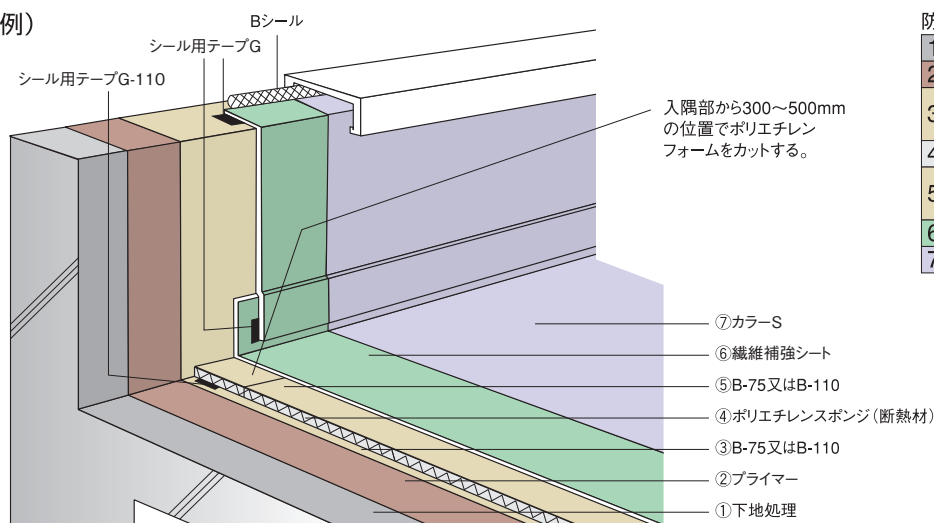


防水工程

1 下地処理	清 掃
2 プライマー	0.2kg/㎡
3 B-75又はB-110	下地面 0.2kg/㎡ シート面0.2kg/㎡
4 繊維補強シート	1.1㎡/㎡
5 Bトップ	1.0～1.5kg/㎡

FV-401工法（非歩行用断熱）

（施工例）

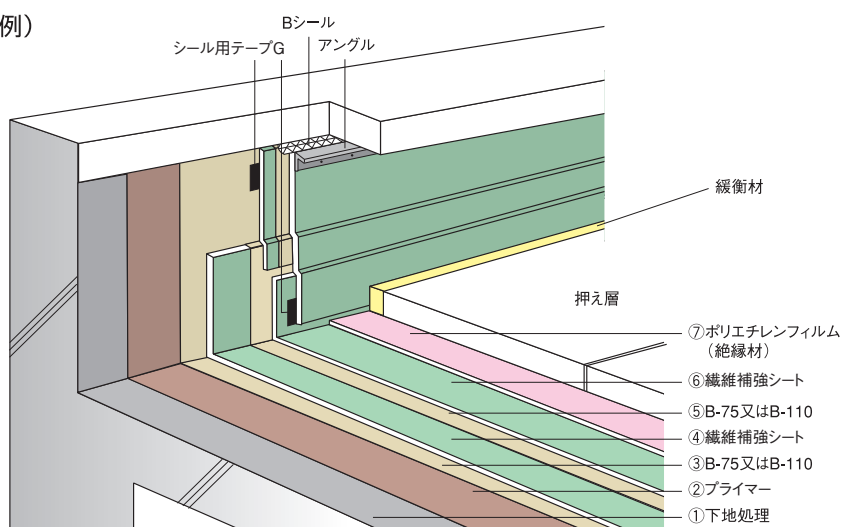


防水工程

1	下地処理	清 掃
2	プライマー	0.2kg/m ²
3	B-75又はB-110	下地面 0.2kg/m ² 断熱材面0.2kg/m ²
4	ポリエチレンフォーム	1.0m/m ²
5	B-75又はB-110	断熱材面0.2kg/m ² シート面0.2kg/m ²
6	繊維補強シート	1.1m ² /m ²
7	カラー-S	0.25kg/m ²

FV-301W工法（歩行用）

（施工例）



防水工程

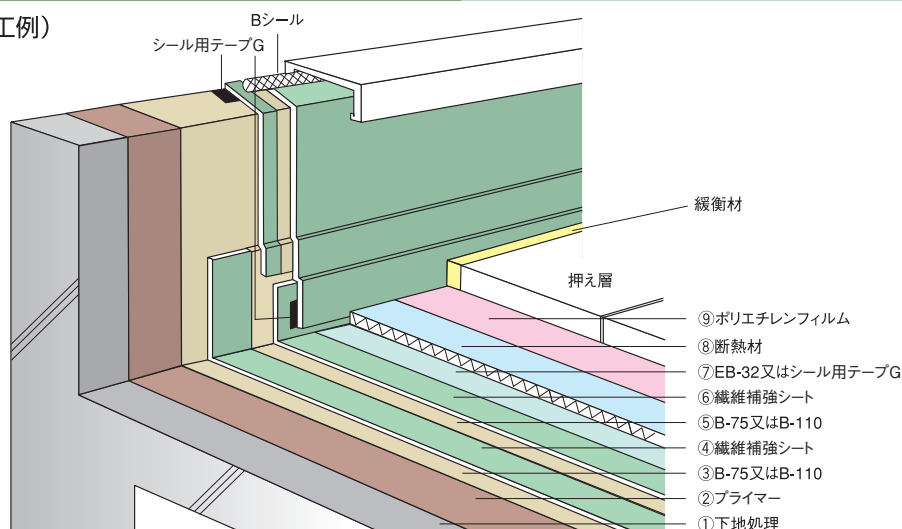
1	下地処理	清 掃
2	プライマー	0.2kg/m ²
3	B-75又はB-110	下地面 0.2kg/m ² シート面0.2kg/m ²
4	繊維補強シート	1.1m ² /m ²
5	B-75又はB-110	下シート面0.2kg/m ² 上シート面0.2kg/m ²
6	繊維補強シート	1.1m ² /m ²

保護仕上げ行程(別途工事)

7	保護モルタル又は絶縁材	塗り厚10～15mm ポリエチレンフィルム又はアスファルトフェルト
8	コンクリート押え	厚 さ 60mm以上

FV-501DW工法（歩行用断熱）

（施工例）



防水工程

1	下地処理	清 掃
2	プライマー	0.2kg/m ²
3	B-75又はB-110	下地面 0.2kg/m ² シート面0.2kg/m ²
4	繊維補強シート	1.1m ² /m ²
5	B-75又はB-110	下シート 0.2kg/m ² 上シート 0.2kg/m ²
6	繊維補強シート	1.1m ² /m ²
7	EB-32又はシール用テープG	—
8	断熱材	発泡ポリスチレンフォーム
9	絶縁材	ポリエチレンフィルム又はアスファルトフェルト
10	押え層	別途工事

NH-1工法 (RV-F101)



1 下地処理

必要に応じて、下地調整をします。下地が十分に乾燥しているか確認します。表面のゴミ、砂、レイタンス粉末、付着油脂類等は、ケレン棒、ブラシ、溶剤等で丁寧に取り除きます。



2 プライマーの塗布

接着強度を高めるため、下地面に十分浸透するように、ロール刷毛、手刷毛でプライマーを均一に塗布します。



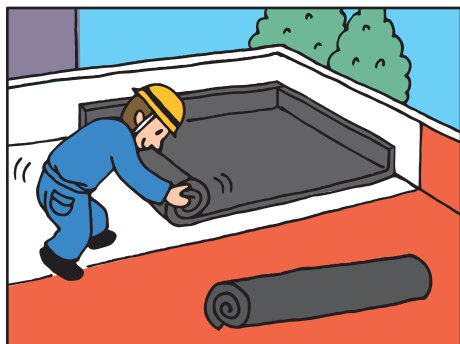
3 接着剤B-75又はB-110の塗布(下地面)

プライマーの乾燥確認後、下地面へ接着剤B-75又はB-110を均一に塗布します。



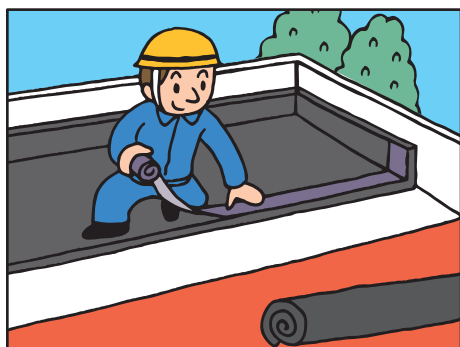
4 接着剤B-75又はB-110の塗布(シート裏面)

シート裏面へ接着剤B-75又はB-110を均一に塗布します。
(バンドーシートCDEは、あらかじめシートの裏面に接着剤が塗布されています。)



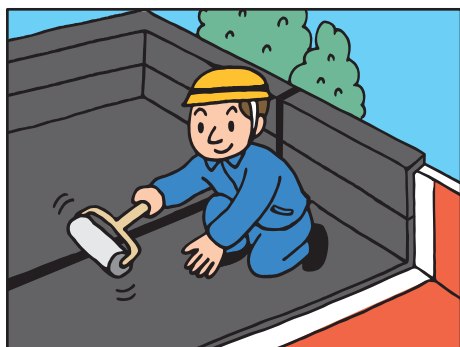
5 シート貼り付け

接着剤B-75又はB-110の指触乾燥後、シートを水下より引っ張らないように貼り付けます。この際にエアが入らないように注意します。



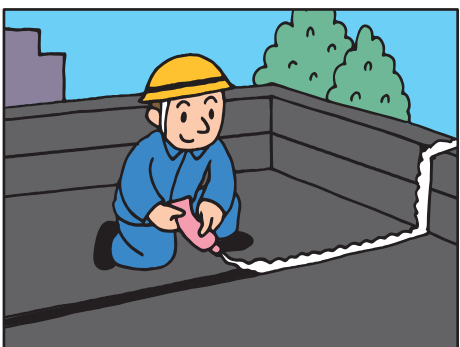
6 シートジョイント部の処理

シートジョイント巾は100mm以上重ね合わせて貼ります。
ジョイント部に接着剤B-75又はB-110を塗布し、指触乾燥後
シール用テープGを併用します。
立ち上がり部と平揚部のジョイントの重ね代は150mm以上とします。



7 シート転圧

転圧ローラーは、下地の形状にあったローラーの使い分けをし、特にシートジョイント部は入念に転圧します。



8 端末の処理

バンドーシート端末部は、必要に応じてBシール等にて処理します。シート3枚重ね部は必ずコーキング処理をしてください。

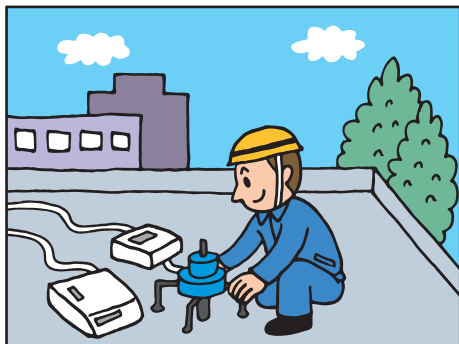


9 仕上げ

ゴム系弾性塗料(カラーS)でバンドーシート防水層の表面を着色仕上げします。

施工手順

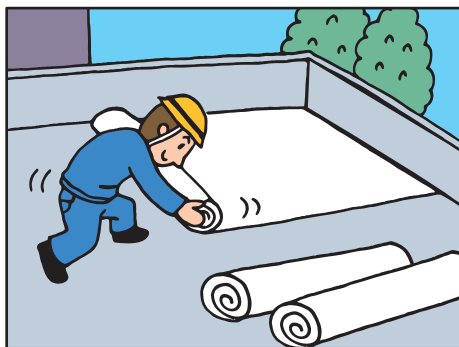
BK-1工法(RV-M101)



1 下地の清掃確認及び引抜き強度の確認

施工前にアンカーピンの引抜き強度の試験を実施し、基準値を満足する様、ビスの数量等を確認する。

必要に応じて、下地調整します。表面のゴミ、砂、レイトンス粉末、付着油脂類等は、ケレン棒、ブラシ、溶剤等で丁寧に取り除きます。



2 絶縁シート敷設

絶縁シートを敷設し、ジョイント部は突き付けとする。

(水系接着剤EB-32や、両面テープ等で風で飛ばされない様に仮止めをすることをおすすめします。)



3 繊維補強シート敷設

シートの割り付け後シートを水下より貼り付けます。この際にシワが入らないように注意します。

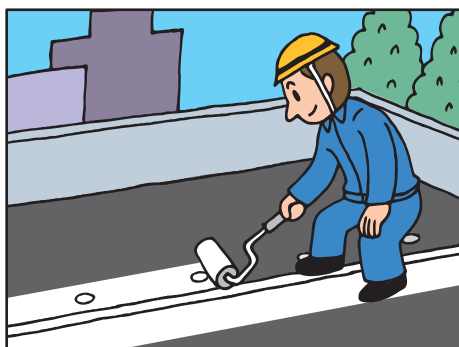


4 ディスク盤の固定(エアー式工法)

ディスクをエアピンを用いて取り付ける。

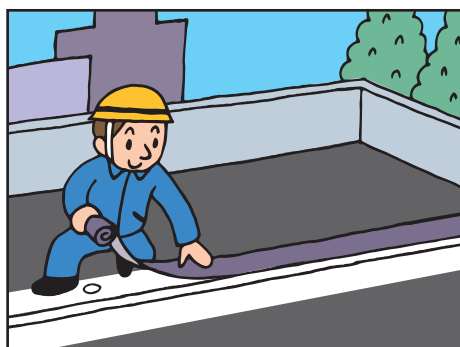
尚、このときの取り付けピッチ及びビスの長さは建築基準法の耐風圧力の値を満足するように設定します。

※ハンマードリル工法もあります。



5 シートのジョイント部接着剤塗布

シートのジョイント部両面に接着剤B-75又はB-110を均一に塗布します。



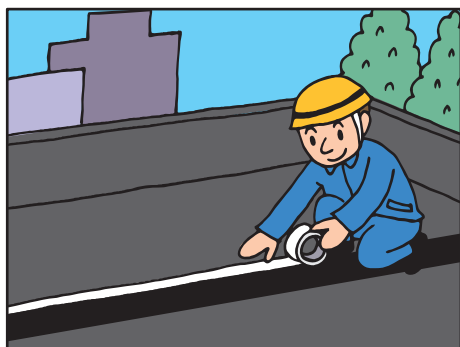
6 シール用テープG-110貼付け

シートジョイント巾は150mm以上重ね合わせて貼ります。
ジョイント部の接着剤の指触乾燥後シール用テープG-110を併用します。
立上り部と平揚部のジョイントの重ね代は180mm以上とします。
(SUSプレート工法の場合)



7 ジョイント部ローラー転圧

転圧ローラーは下地の形状にあったローラーの使い分けをし、
入念に転圧します。



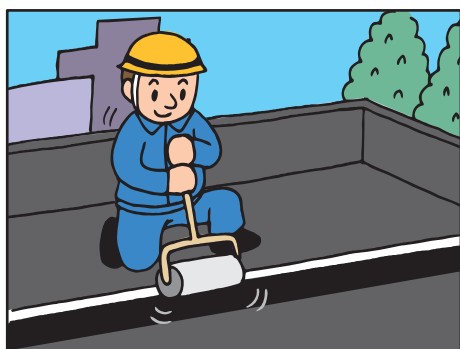
8 シートジョイント部末端の処理

AR貼付仕様の場合

シート/シートのジョイント部末端にB-75又はB-110を塗布し、
指触乾燥後、シール用テープARを貼り付ける。

Bシール等処理仕様の場合

シート/シートのジョイント部末端にBシール等で処理する。



9 シール用テープAR部ローラー転圧

転圧ローラーは下地の形状にあったローラーの使い分けをし、
入念に転圧します。



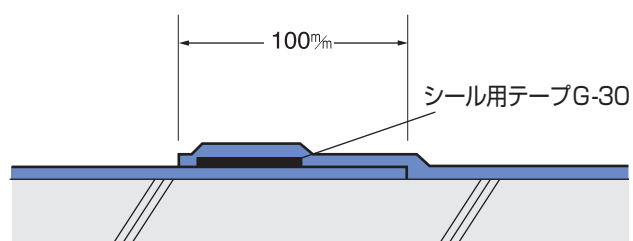
10 仕上げ

ゴム系弾性塗料(カラーS)で繊維補強シート防水層の表面を
着色仕上げします。

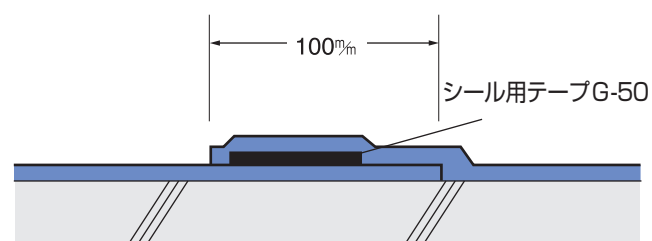
バンドーシート標準納まり図（例）

シート接合部

NH-1(C)、NH-2、K、NHD、FV-101、
FV-102、FV-201、FV-401の場合

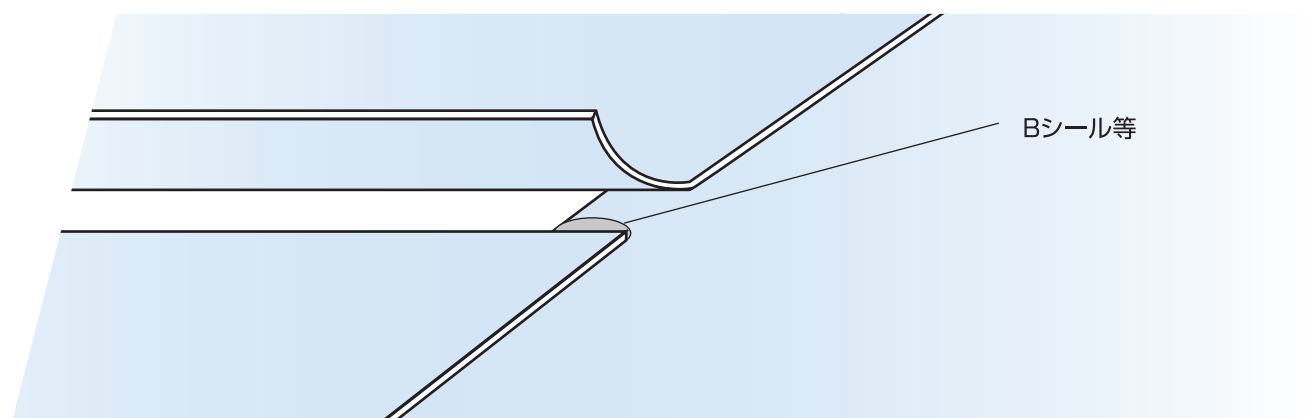


HW、HSDW、FV-301W、FV-501DW
の場合

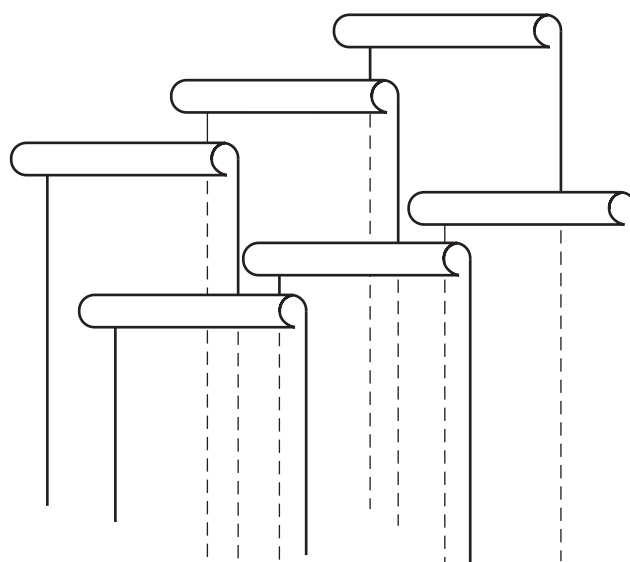


※必要に応じて、シートジョイント末端部にBシール等、及びシール用テープARを用いてコーキング処理します。
現場の状況によりシール用テープGの挿入位置は変更する場合があります。

3枚重ね部

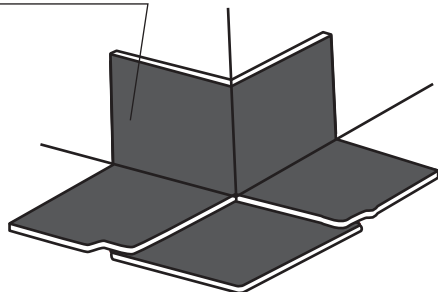


二層防水（HW工法・HSDW工法）の貼り付け



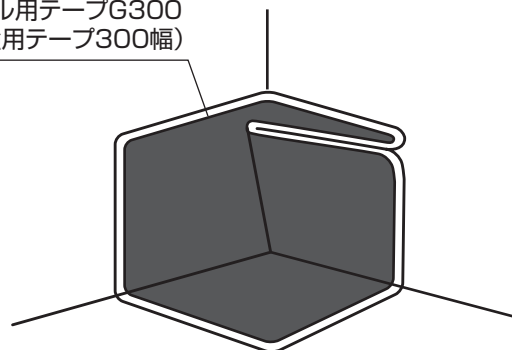
出隅部

シール用テープG300
(補強用テープ300幅)



入隅部

シール用テープG300
(補強用テープ300幅)



※出隅・入隅部は200mm角程度の増張りを行う。

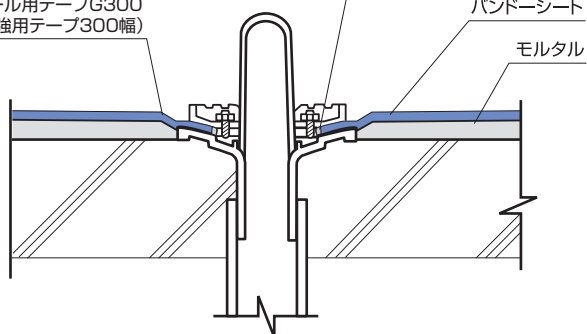
縦引きドレン周り

シール用テープG300
(補強用テープ300幅)

Bシール等

バンドーシート

モルタル



横引きドレン周り

バンドーシート

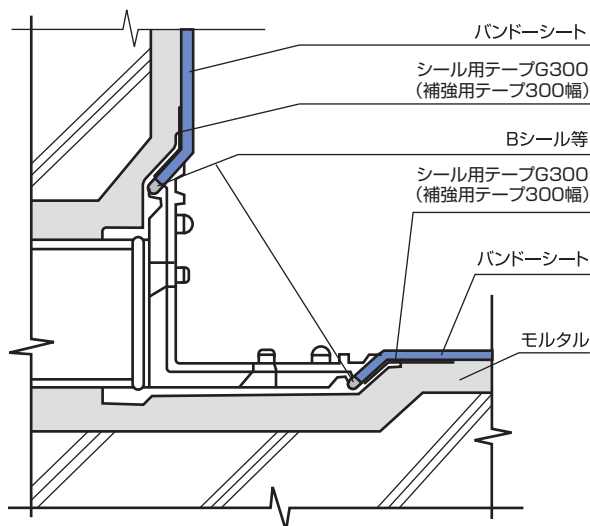
シール用テープG300
(補強用テープ300幅)

Bシール等

シール用テープG300
(補強用テープ300幅)

バンドーシート

モルタル



パイプ周り

Bシール等

金属製バンド

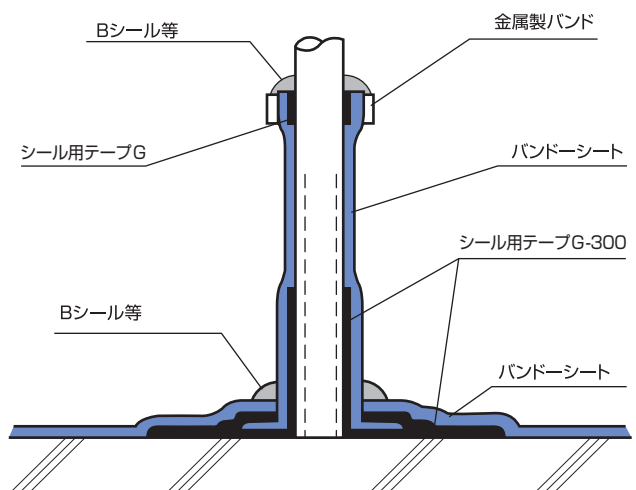
シール用テープG

バンドーシート

シール用テープG-300

Bシール等

バンドーシート



脱気筒周り

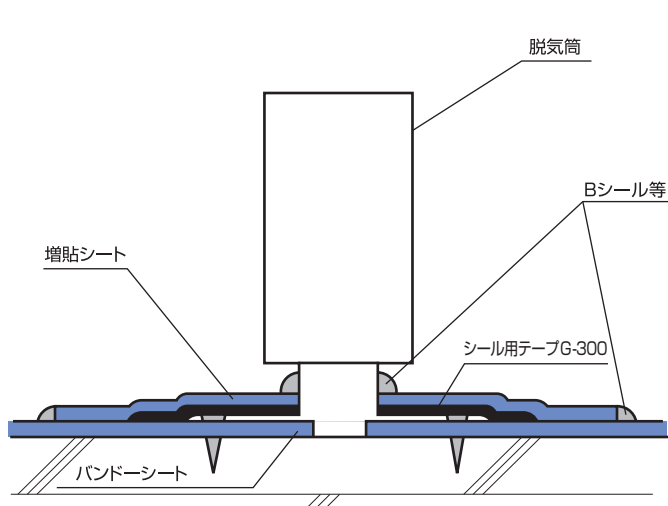
脱気筒

Bシール等

シール用テープG-300

増貼シート

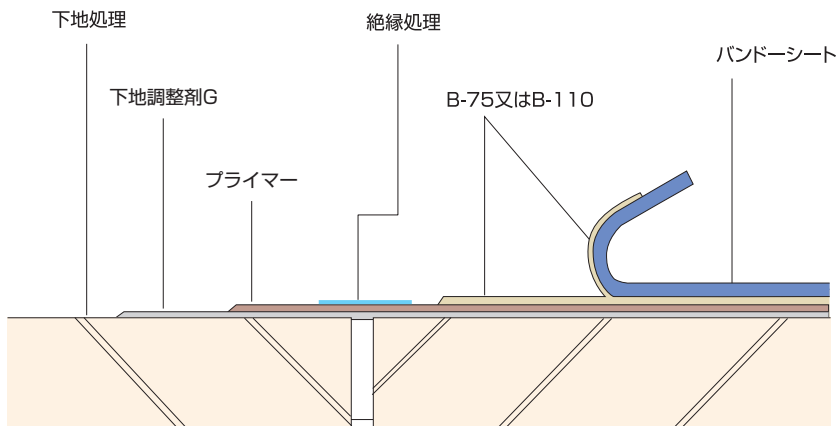
バンドーシート



バンドーシート標準納まり図（例）

ALCの工法

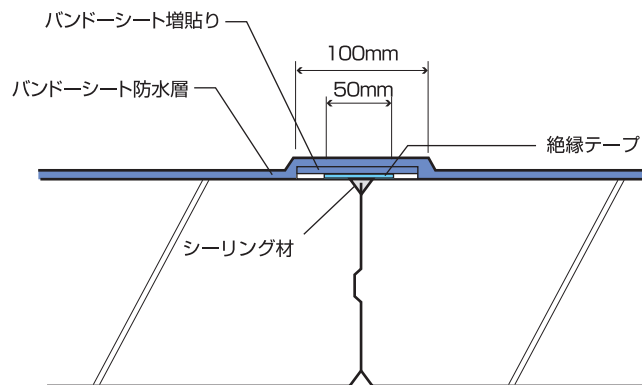
ALCパネル、PC部材のパネル相互の接合部では、建築物の動きにより防水層に力がかかることがあるので必要に応じて絶縁用テープを用いて浮かし貼りとしたり増し貼り用シートで補強貼りをします。



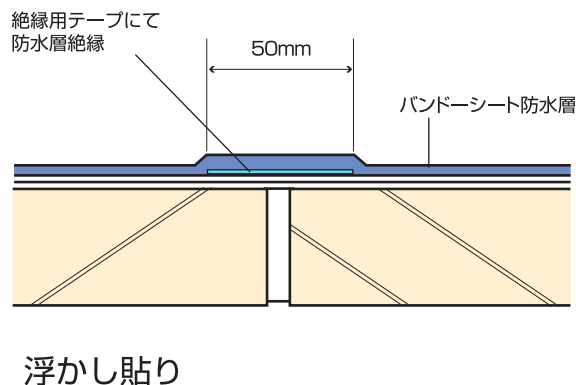
施工手順

- ①下地処理（清掃）
- ②下地調整剤G塗布
- ③プライマー塗布
- ④ALCパネル目地処理
- ⑤B-75又はB-110塗布
- ⑥バンドーシート貼付

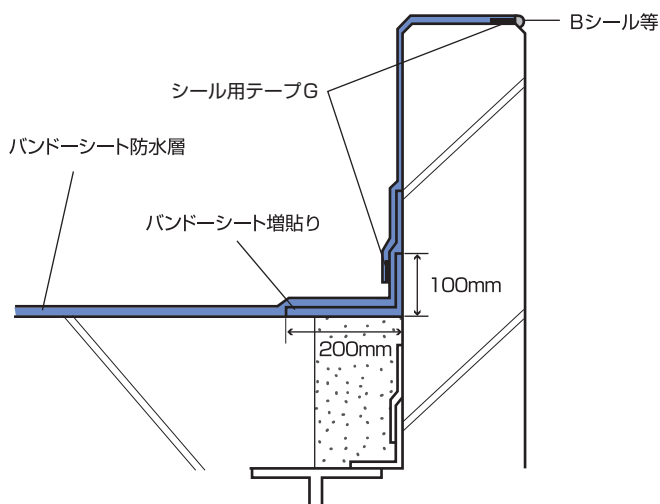
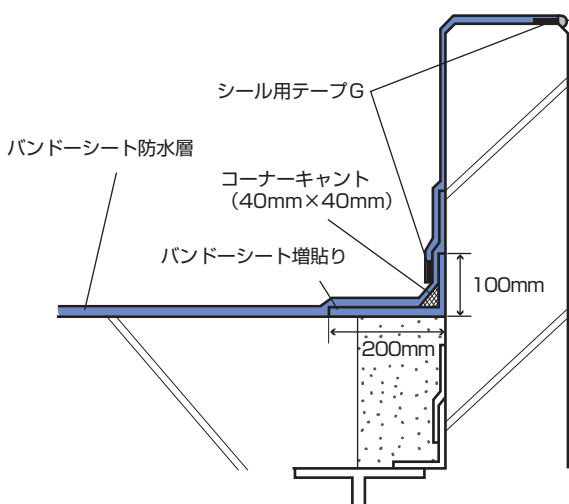
立上り壁面目地部



短辺接合部

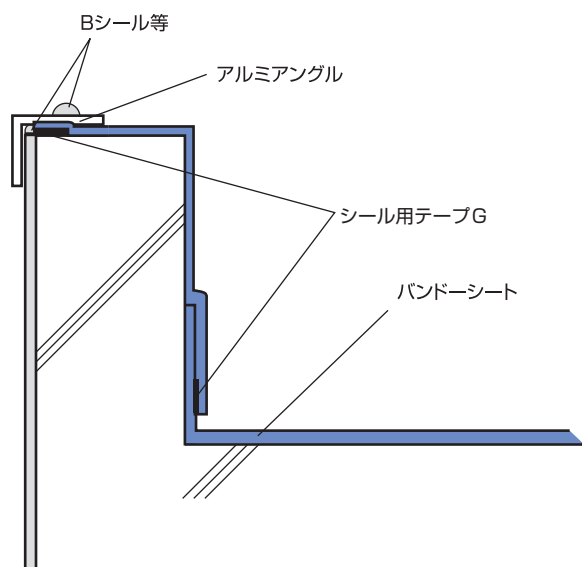


ALCロック工法一部納まり図（例）

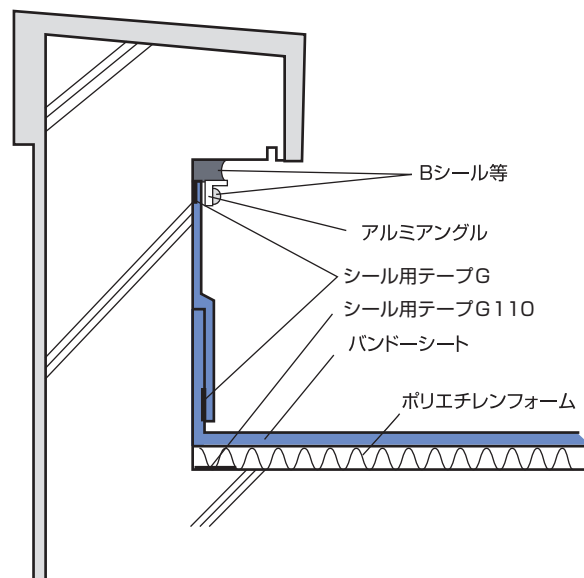


パラペット

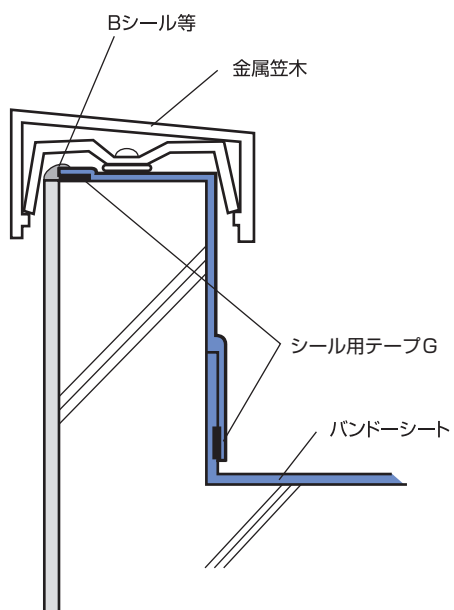
NH-1 (RV-F101)



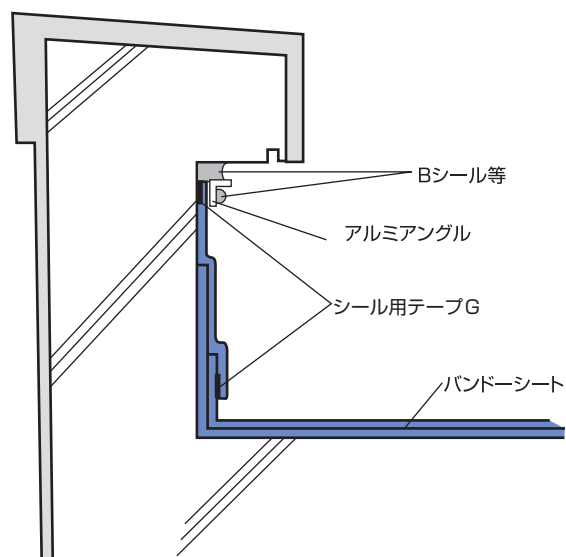
NHD (RV-F401)



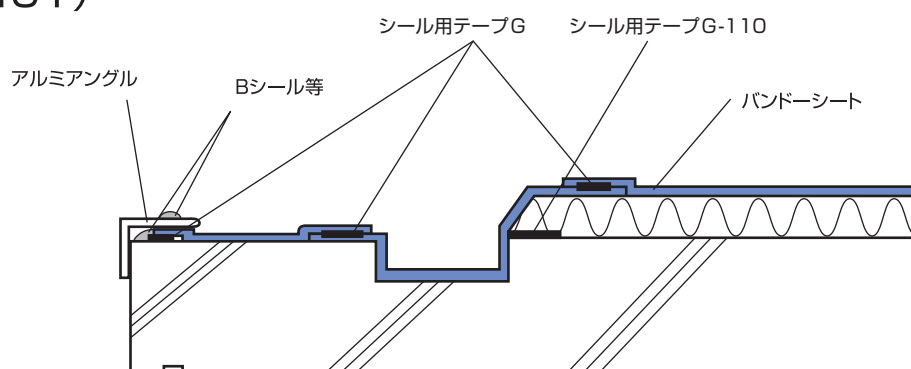
NH-1 (RV-F101)



2枚貼り工法

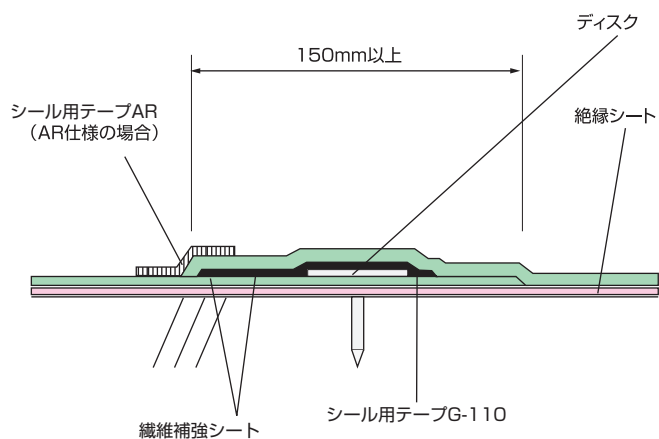


NHD (RV-F401)

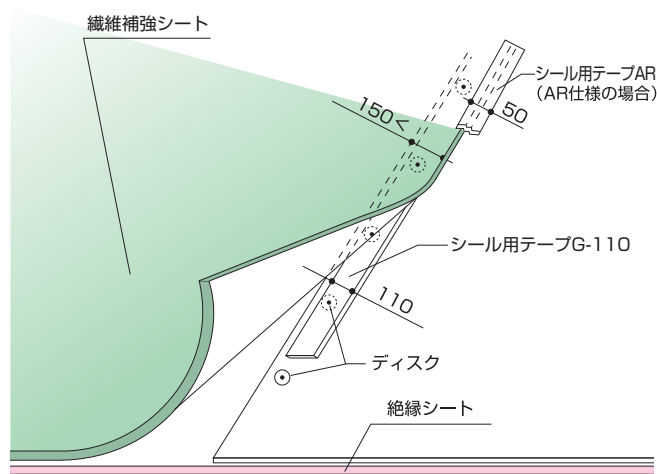


繊維補強シート標準納まり図（例）

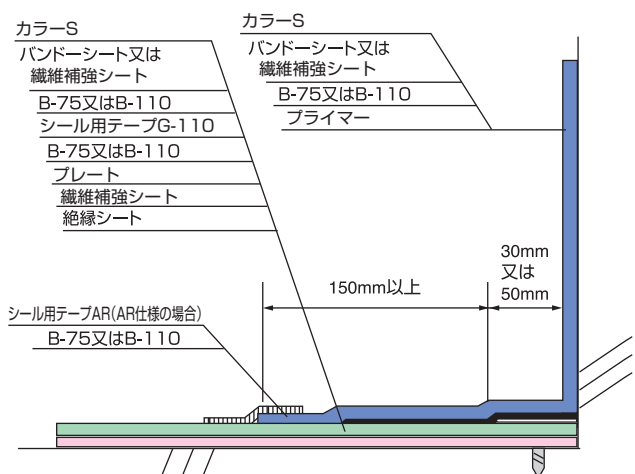
シート接合部



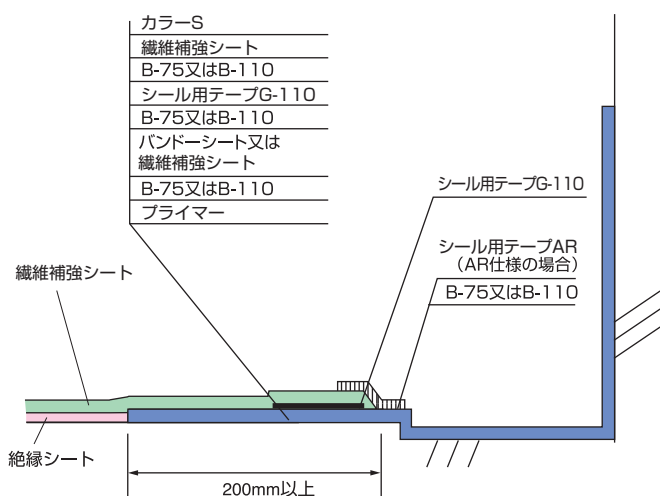
ジョイント部



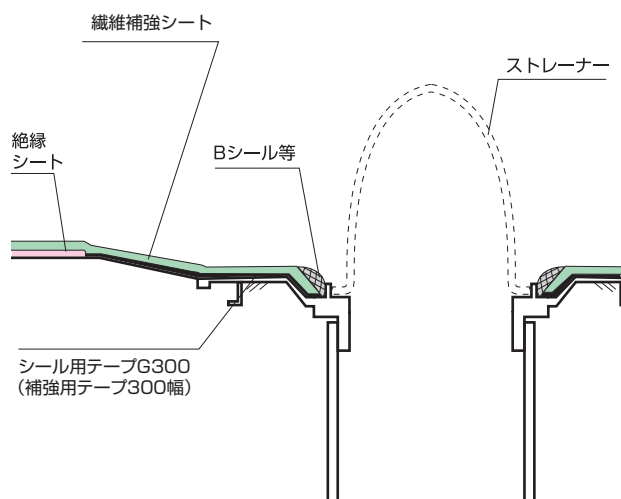
平場／立上り接合部（例）



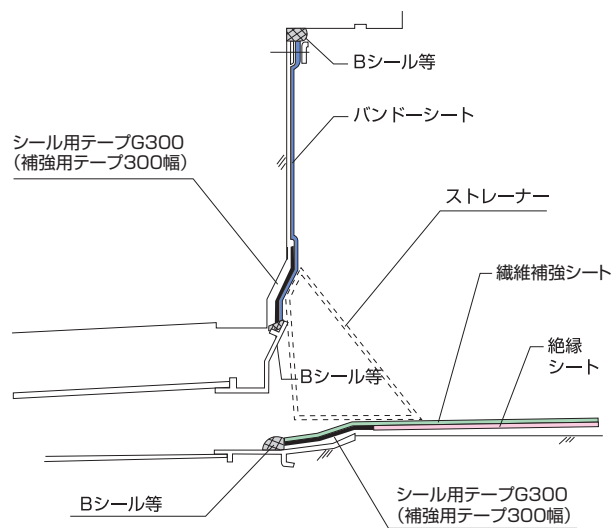
側溝部納まり（例）



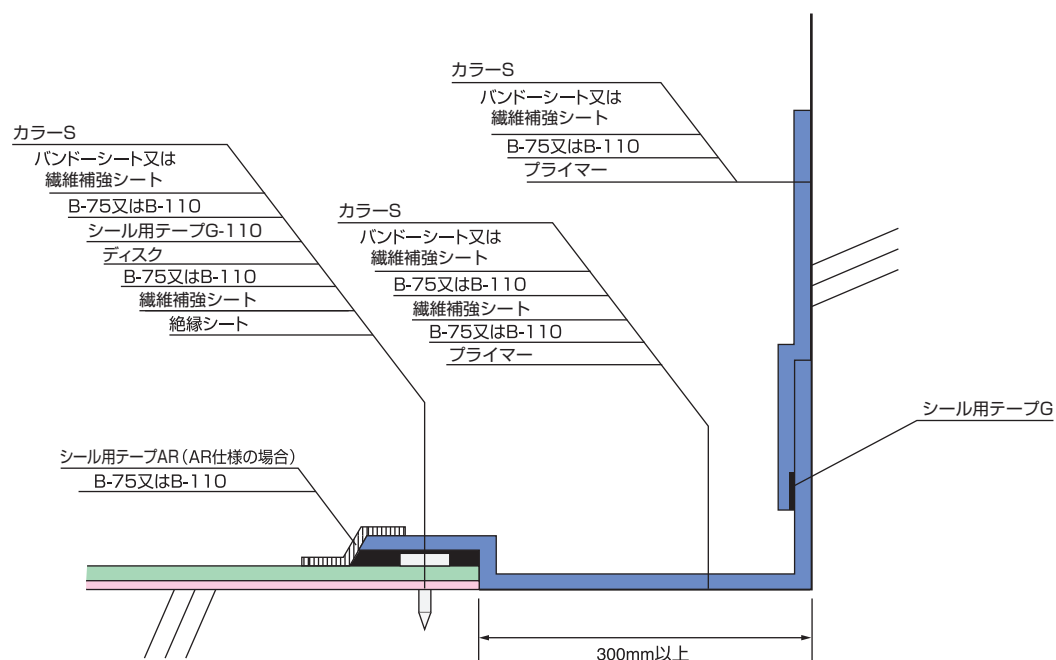
縦引きルーフトレン周り（例）



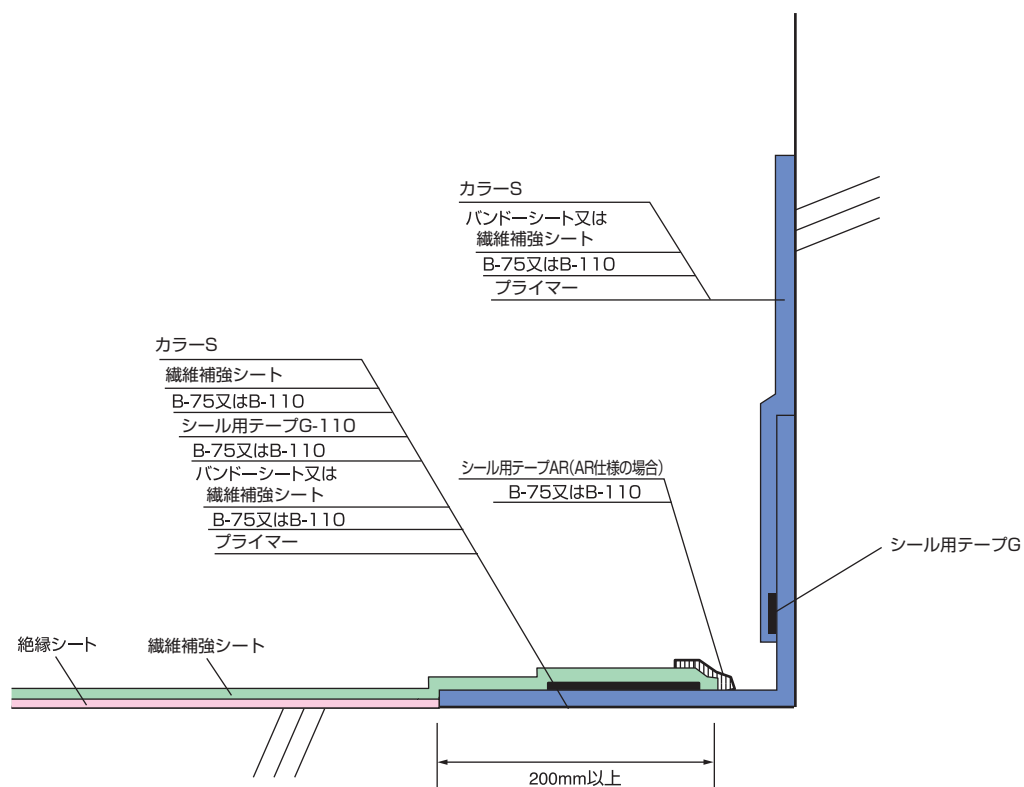
横引きルーフトレン周り（例）



プレートを使わない場合(水上側 例)



プレートを使わない場合(水下側 例)



固定方法

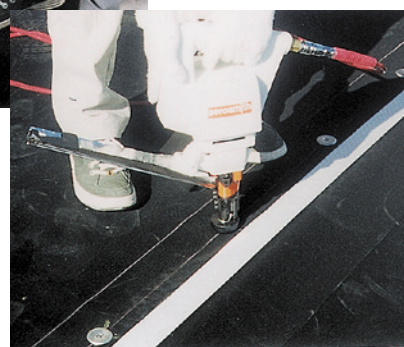
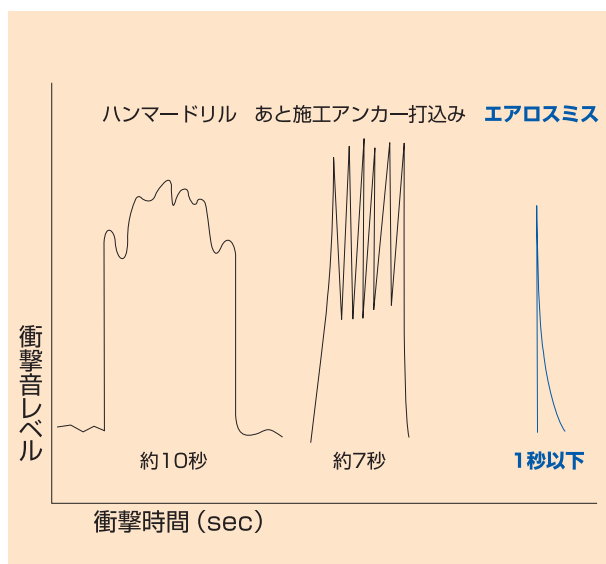
固定方法

エアロスミス

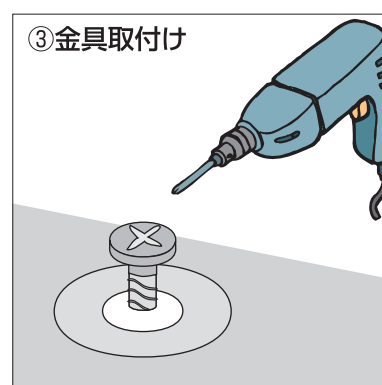
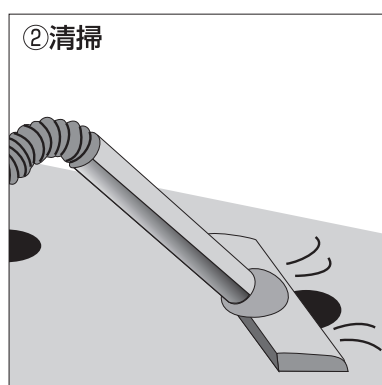
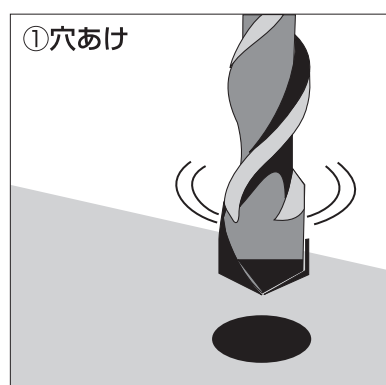
●他の工法と比較し音を軽減出来ます。

■エアー式機械固定工法（エアロスミス）
1発施工（1秒以下・約80dB）

エアロスミス使用による騒音軽減の検証



プラグピン



(ネジ込み)

耐風圧力の計算

建築基準法に基づく屋根面にかかる耐風圧力の計算

- 建築基準法施行令及び建設省告示では、屋根面にかかる風圧力の算出基準が次のように示されています。

【平成12年建築基準法施行令第87条及び建設省告示平12建告第1458号】

計算式

$$W = q \times C_f$$

風圧力
単位: N/m²
平均速度圧
単位: N/m²
ピーク
風力係数

$$\left(\begin{array}{l} W=0.6 \times E_r^2 \times V_o^2 \times C_f \\ q=0.6 \times E_r^2 \times V_o^2 \\ E_r=1.7 (H/Z_G)^\alpha \end{array} \right)$$

Er = 平成12年建設省告示1454号

第1第2項に規定する数値

Vo = 平成12年建設省告示1454号

第2項に規定する基準風速の数値 (m/秒)

Cf = 風力係数

H = 建物の高さ (m)

Z_G = 平成12年建設省告示1454号第2に

規定する地表面粗度区分による数値 (m)

■地表面粗度区分によるZ_G及びαの値

地表面粗度区分	Z _b	Z _G	α
I	5	250	0.1
II	5	350	0.15
III・IV	5	450	0.2
(V)	10	550	0.27

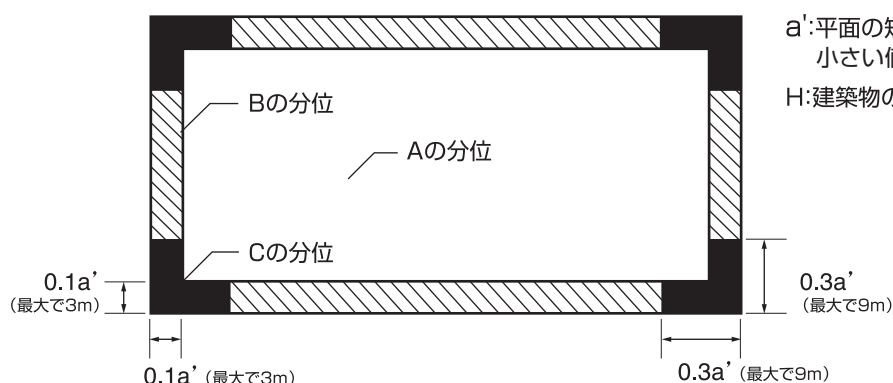
H: 建築物の高さと軒の高さとの平均 (m) と Z_b (地表面粗度区分に応じて規定された上記の数値) を比較し、大きい方の数値。

屋根ふき材等の構造計算

建築基準法施行令第82条の5

「屋根ふき材、外装材及び屋外に面する帳壁については、国土交通大臣が定める基準に従った構造計算によって風圧に対して構造耐力上安全であることを確かめなければならない。」と規定されています。上記算出基準に基づき算出し、風圧力に耐えるように固定金具の耐力等に応じて留付け間隔を定める必要があります。

陸屋根面の部位位置



副資材一覧

用途	品名	荷姿及び寸法	標準使用量	工法	掲載ページ
下地調整材	下地調整剤G	18kg／缶入り	—	密着 機械	31
プライマー	プライマーB ※	15kg／缶入り	0.2kg／㎡	密着 機械	31
	プライマーR ※	15kg／缶入り	0.2kg／㎡	密着 機械	31
	プライマーKR ※	15kg／缶入り	0.2kg／㎡	密着 機械	31
	プライマーE-1 ※	5kg／缶入り	0.2kg／㎡	密着	31
	プライマーSS ※	15kg／缶入り	0.2kg／㎡	密着	31
接着剤	B-75 ※	15kg／缶入り	STD～0.4kg／㎡ CDE～0.2kg／㎡	0.2～0.4kg／㎡ 密着 機械	32
	B-110 ※	15kg／缶入り		0.2～0.4kg／㎡ 密着 機械	32
	EB-32	18kg／缶入り	0.15kg／㎡	密着 機械	32
不定形 及び定形 シーリング材	Bシール ※	8kg／缶入り	—	密着 機械	32
	シール用テープG-30	0.8mm厚×30mm巾×40m長／巻き（1ケース4巻き入り）	—	密着 機械	32
	シール用テープG-50	0.8mm厚×50mm巾×40m長／巻き（1ケース4巻き入り）	—	密着 機械	32
	シール用テープG-110	1.0mm厚×110mm巾×20m長／巻き（1ケース4巻き入り）	—	密着 機械	32
	シール用テープAR	0.8mm厚×50mm巾×20m長／巻き（1ケース16巻き入り）	—	密着 機械	32
補強貼り シート	シール用テープG-300	1.5mm厚×300mm巾×10m長／巻き（1ケース1巻き入り）	—	密着 機械	33
	補強用テープ300幅	1.0mm厚×300mm巾×30m長／巻き（1ケース2巻き入り） 1.0mm厚×300mm巾×10m長／巻き（1ケース4巻き入り）	—	密着 機械	33
	帯シート ★	1.0mm厚×100mm巾×20m長／巻き（1ケース12巻き入り） 1.0mm厚×300mm巾×20m長／巻き（1ケース4巻き入り）	—	密着	33
仕上げ塗料	カラーS（水性）	15kg／缶入り シルバー缶以外16kg／缶入り	0.25kg／㎡	密着 機械	36
	Bトップ（珪砂入り）	20kg／缶入り	1.0～1.5kg／㎡	密着 機械	36
	カラーNS（難燃塗料） ★	18kg／缶入り	1.2kg／㎡	密着 機械	36
	カラーRS ★	16kg／缶入り	0.3kg／㎡	密着 機械	36
絶縁シート	絶縁シート	1.0mm厚×1,000mm巾×100m長／巻き	1m／㎡	密着 機械	33
シート 固定金具	ディスク	45mm径（1ケース100枚／箱×6箱入り） 50mm径（1ケース200枚／箱入り）	—	機械	34
	プレート	30mm巾×2,000mm（1ケース20本入り） 50mm巾×1,800mm（1ケース30本入り）	—	機械	34
	エアーピン	3.6φ×35（1ケース100本／袋入り）	—	機械	35
	アンカープラグ	8φ×40（1ケース400本）	—	機械	35
脱気装置	脱気筒（プラスチック／ステンレス）	サイズにより異なります。	50～100㎡／ケ	密着 機械	38
	通気用目地テープ	0.4mm厚×70mm巾×50m長／巻き（1ケース10巻き入り）	—	密着	38
成形品	改修用ドレン タテ型	サイズにより異なります。	—	密着 機械	37
	改修用ドレン ヨコ型	サイズにより異なります。	—	密着 機械	37
断熱材	断熱材	サイズにより異なります。	—	密着 機械	37
押え金具	アルミアングル	サイズにより異なります。	—	密着 機械	39
保護マット	防水保護マット	サイズにより異なります。	—	密着 機械	40

★印は受注生産品です。 ※印は溶剤を含んでおりますのでお取り扱いにご注意下さい。火気厳禁。
ディスク標準使用量は、現場の形状及び、地域等により異なりますので現場ごとにご確認下さい。

副資材

下地調整材

下地調整剤G

アクリル樹脂系エマルジョンを主成分とし、ポルトランドセメント等と混和して使用することでバンドーシート防水工法の下地に優れた接着性、及び防水効果を発揮します。

荷姿
18kg／缶入り

配合比

下地調整剤G： 水 ： ポルトランドセメント
18kg ： 6ℓ ： 60kg

プライマー

プライマーB・プライマーR・プライマーKR

クロロプレンゴムを主成分とする有機溶剤溶液で下地コンクリートやモルタルに良く浸透し、バンドーシート防水層とモルタル、コンクリートとの接着性を高め長期にわたって接着強度を確保します。

品名	荷姿	備考(色調)
プライマーB	15kg／缶入り	黒色
プライマーR		赤色
プライマーKR		

※溶剤を含んでおりますのでお取り扱いにご注意下さい。火気厳禁。

プライマーE-1

塩化ビニール系シートとの接着力を高めることができる改修工事用プライマーです。(可塑剤をおさえる働きがあります)

荷姿
5kg／缶入り

※溶剤を含んでおりますのでお取り扱いにご注意下さい。火気厳禁。

プライマーSS

EPDMゴムを主成分とする有機溶剤溶液で既設加硫ゴムシート防水層に塗布することにより、表面を活性化し、強力な接着力が得られます。

荷姿
15kg／缶入り

※溶剤を含んでおりますのでお取り扱いにご注意下さい。火気厳禁。

副資材

接着剤

B-75 / B-110

クロロプレンゴムを主成分とする耐久性に優れた溶剤系接着剤です。下地面とシート間及びシートジョイント部、増し貼り部等に使用します。

品名	荷姿
B-75	15kg／缶入り
B-110	

※溶剤を含んでおりますのでお取扱いにご注意下さい。火気厳禁
◆B-110は低粘度タイプとなっております。

EB-32

アクリル樹脂を主成分とする水性接着剤で、下地面と断熱材の仮止めに、又、繊維補強シートによる機械的固定工法の際に絶縁シートを既存防水層に仮止めする接着剤として使用します。

荷姿
18kg／缶入り

※0℃以下になる所での保管はお避け下さい。

テープ状シール材・シーリング材

シール用テープG-30 / シール用テープG-50 / シール用テープG-110

ブチルゴムを主成分とする非加硫タイプのテープ状シーリング材で、シートジョイント部、及びシート貼り仕舞部の水密性を保持します。シール用テープG-110はNHD工法、FV-401工法の場合、立ち上り際の平場に貼り、断熱材の熱膨張・収縮等による防水層に対する影響を緩和させる場合にも使用します。

品名	荷姿
シール用テープG-30	0.8mm厚×30mm巾×40m長／巻き（1ケース4巻き入り）
シール用テープG-50	0.8mm厚×50mm巾×40m長／巻き（1ケース4巻き入り）
シール用テープG-110	1.0mm厚×110mm巾×20m長／巻き（1ケース4巻き入り）

シール用テープAR

ブチルゴムを主成分とする非加硫タイプのテープ状シーリング材。ブチルゴムに不織布をラミネート加工しているのでシートのラップジョイント部の端末処理材として水密性を保持します。

荷姿
0.8mm厚×50mm巾×20m長／巻き（1ケース16巻き入り）

Bシール

ブチルゴムを主成分とする不定形シーリング材で、シート貼り仕舞部役物周り等の水密性を保持します。

荷姿
8kg／缶入り

補強貼りシート

シール用テープG-300

ブチルゴムを主体とする非加硫タイプのテープ状シーリング材で、出入隅やドレン周り部等への補強貼りに最適です。

荷姿
1.5mm厚×300mm巾×10m長／巻き （1ケース1巻き入り）

補強用テープ(300mm)

ブチルゴムを主体とする非加硫ゴムのテープ状シーリング材で、役物周り、特にドレン周り部の補強貼りに最適です。接着剤を塗布して使用します。

荷姿
1.0mm厚×300mm巾×30m長／巻き （1ケース2巻き入り）
1.0mm厚×300mm巾×10m長／巻き （1ケース4巻き入り）

帯シート

EPDMを主成分とした加硫ゴムシートで耐候性に特に優れ、ALCパネル、PC部材、パネル相互の接合部の補強貼りに最適です。

荷姿
1.0mm厚×100mm巾×20m長／巻き
1.0mm厚×200mm巾×20m長／巻き
1.0mm厚×300mm巾×20m長／巻き

※受注生産品となりますので納期につきましてはご相談下さい。

絶縁シート

絶縁シート

1mmの無架橋ポリエチレンシートにポリエチレンフィルムを貼りつけたもので緩衝材（絶縁シート）として使用します。

荷姿
1.0mm厚×1000mm巾×100m長／巻き

※仮止めとしてはEB-32をご使用下さい。

副資材

シート固定金具

ディスク

繊維補強シート(機械的固定工法)のエアツール方式専用のディスクでエアーピンと組み合わせて使用します。

品名	直径(mm)	厚さ(mm)	穴径(mm)	荷姿
ディスクS(45φ)穴4.5φ	45	1.2	4.5	1ケース 100 枚/箱× 6 箱入り
ディスクS(45φ)穴6φ	45	1.2	6.0	1ケース 100 枚/箱× 6 箱入り
ディスクG(50φ)穴4φ	50	0.9	4.0	1ケース 200 枚/箱

※IH用ディスク盤も用意しています。 IH工法の詳細は別途お問い合わせ下さい。

プレート

機械的固定工法で施工する場合の平場部と立上り部の入隅部及び架台周り部に使用します。

品名	厚み(mm)	巾(mm)	長さ(mm)	荷姿
プレートS	0.5	30	2,000	1ケース 20 本入り
プレートG	1.0	50	1,800	1ケース 30 本入り

エアープिन

繊維補強シート(機械的固定工法)のエアツール方式専用のエアープインでディスク・プレートと組み合わせて使用します。

品名	太さ(mm)	長さ(mm)	荷姿
エアープインAK-830SS	3.6	30	1ケース 100 本入り
エアープインAK-835SS	3.6	35	1ケース 100 本入り
エアープインAK-840SS	3.6	40	1ケース 100 本入り
エアープインAK-845SS	3.6	45	1ケース 100 本入り
エアープインAK-850SS	3.6	50	1ケース 100 本入り
エアープインAK-855SS	3.6	55	1ケース 100 本入り
エアープインAK-860SS	3.6	60	1ケース 100 本入り

品名	太さ(mm)	長さ(mm)	荷姿
エアープインAK-830	3.6	30	1ケース 100 本入り
エアープインAK-835	3.6	35	1ケース 100 本入り
エアープインAK-840	3.6	40	1ケース 100 本入り
エアープインAK-845	3.6	45	1ケース 100 本入り

アンカープラグ

アンカープラグ施工によりディスク・プレート等の取付に使用します。(ネジ込み式 アンカープラグです。)

品名	ドリル径φ(mm)	有効埋込み深さ(mm)	ビス長(mm)	荷姿
HUD-1	8	40	50	1ケース 400 本入り
HUD-1	8	40	63	1ケース 400 本入り
HUD-1	8	40	75	1ケース 400 本入り
HUD-1	8	40	90	1ケース 400 本入り
HUD-1	8	40	105	1ケース 400 本入り
HUD-1	8	40	120	1ケース 400 本入り

※8φ以上のプラグ(ドリル径8.0mm)はディスク穴径より径が大きいので
下記手順にて施工下さい。

手順 ①穴あけ ②プラグ差込み ③ディスク配置 ④ビス止め

※ビスは、ステンレスビス皿木ネジタイプ5.8φを使用します。

副資材

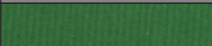
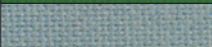
仕上げ塗料 一覧表の色見本は印刷の都合上実際の物とは異なる場合がありますのでご注意ください。

カラーS

アクリル樹脂を主成分とした弾性のある水性塗料でシート層の伸縮に追随し、耐水性、耐候性、耐薬品性に優れ、通気不良箇所の施工に適しています。

標準色 3色

※かくはんの上、塗りむらのない様に塗布して下さい。0℃以下になる所での保管はお避け下さい。

品名	荷姿	色見本	色
カラーSシルバー	15kg／缶入り		シルバー
カラーSグリーン・グレー	16kg／缶入り		グリーン
			グ レ ー

※その他、特注色は別途ご相談承ります。

Bトップ

アクリル樹脂を主成分とした弾性のある塗料で、耐候性、耐摩耗性に優れた珪砂入り軽歩行用仕上げ材です。

標準色 2色

※かくはんの上、塗りむらのない様に塗布して下さい。0℃以下になる所での保管はお避け下さい。

品名	荷姿	色見本	色
Bトップ	20kg／缶入り		グリーン
			グ レ ー

カラーNS

変性ポリオレフィン系樹脂を主成分とした弾性のある露出シート防水保護化粧難燃仕上げ塗料です。

品名	荷姿	色見本	色
カラーNS	18kg／缶入り		ライトグレー

※受注生産品です。

カラーRS（高日射反射塗料）

アクリルエマルジョン樹脂を主成分とし、遮熱・反射性を有する原料を用いた高日射反射塗料。防水層の表面温度の上昇を抑え、紫外線による劣化を防ぎ防水層の長寿命化も期待出来ます。汎用塗料に対して社内試験では表面温度で最大12℃、内部温度で最大8℃まで熱を抑えることができました。※かくはんの上、塗りむらのない様に塗布して下さい。0℃以下になる所での保管はお避け下さい。

品名	荷姿	色見本	色
カラーRS	16kg／缶入り		ライトグレー

※受注生産品です。

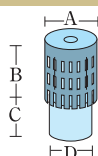
成形品

ゴムドレン

ゴムドレンは旧防水層から新しい防水層へと確実に結ぶ合成ゴム製ドレンとストレーナーのセット商品です。

タテ引き用

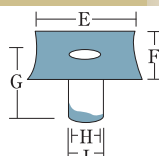
1. キャップ



	A	B	C	D
V-70 (75φ用)	69	100	50	59
V-90 (100φ用)	89	100	50	79

(アルミ製もございます)

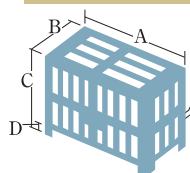
2. ドレンカバー



	E	F	G	H	I
V-50 (50φ用)	400	400	150	37	45
V-70 (75φ用)	400	400	150	60	70
V-90 (100φ用)	400	400	150	80	90

ヨコ引き用

3. ストレーナー

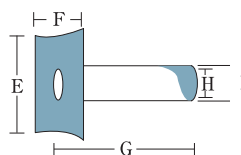


ステンレス
バネ

	A	B	C	D
S-70・90共通	140	60	100	10

※固定バネ…ステンレスSVS301
※S-50はドレンカバーのみ
(アルミ製もございます)

4. ドレンカバー



	E	F	G	H	I
S-50 (50φ用)	400	400	400	37	45
S-70 (75φ用)	400	400	400	60	70
S-90 (100φ用)	400	400	400	80	90

※ゴムドレンSの筒は現場に合わせて
カットして下さい。

断熱材

ポリエチレンフォーム

独立気泡体の発泡ポリエチレン(30倍発泡)で、断熱性、弾力性、柔軟性、耐薬品性、施工性に優れています。

ロール (巾:1m)

厚さ(mm)	長さ(m)	1巻重量(約kg)	ロール直径(約m)
4 ※	100	14.0	0.9
5	100	17.5	1.0
10	50	16.0	1.0
15	25	24.0	1.1
20	25	16.0	0.9
25	25	20.0	1.0
30 ※	25	24.0	1.1

出荷単位:本 ※は受注生産品。その他は在庫品です。特殊サイズのご相談にも応じます。

定尺板 (巾:1m、長さ:2m)

厚さ(mm)	入り数(枚)	1枚重量(約kg)	梱包高さ(約cm)
20	15	1.28	30
25	10	1.60	25
30	10	1.92	30
35 ※	5	2.24	18
40 ※	5	2.56	20
45 ※	5	2.88	23

出荷単位:包 ※は受注生産品。その他は在庫品です。特殊サイズのご相談にも応じます。

ポリスチレンフォーム

JIS A 9511押出ポリスチレンフォーム(保温板)の性能をクリアしており、水分の吸収、水蒸気の透過を防ぐことにより、性能低下による結露発生を防止します。

品種	JIS規格	厚さ(mm)	巾×長さ(mm)
M2RS	A9511 3種b スキンボード	25、30、35、40、50 ※ ※ ※	910×910

ポリスチレンフォームを固定する
断熱材ファスナーもご用意できます。

※受注生産品です。

副資材

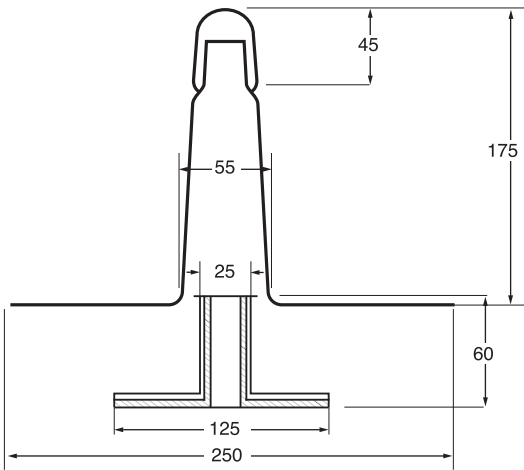
脱気筒

脱気筒は下地コンクリートに含有される水分の影響により、シート防水層のふくれを防止する役割があります。

プラスチック製脱気筒

寸法表(単位:mm)

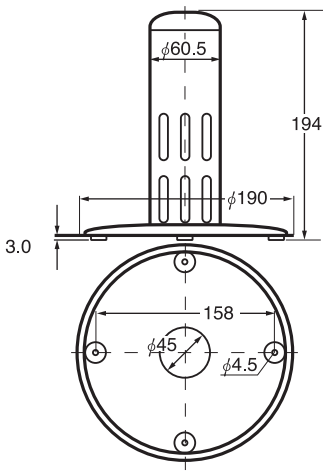
- 重量：約220g
- 荷姿：1ケースにつき20個入り
(1ケース寸法900×265×265)



ステンレス製脱気筒

寸法表(単位:mm)

- 付属品：ステンレスビス／4本×2
クローズプラグ／4本×2
- 荷 姿：脱気筒1ケース2個入



※脱気筒の設置個数に関しましては、
一般的には50～100㎡/個となっております。
※他のステンレス製脱気筒も取り揃えております。

通気テープ

通気用目地テープ

下地に含有される水分を脱気筒に導きシート防水層のふくれをおこりにくくする役割があります。

厚み(mm)	テープ幅(mm)	長さ(m)	荷姿
0.4	70	50	10巻/ケース

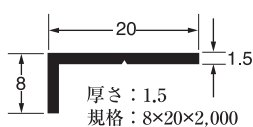
押え金物 (例)

アルミアングル

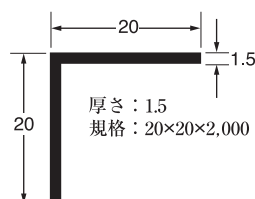
表面処理としてアルマイト加工を施しているため耐候性・耐久性・耐蝕性に優れています。軽量で作業性が良いため、パラペット・壁部の立上がり・軒先廻りのバンドーシート端末押えや水切りとして適しております。

L型アルミアングル (単位:mm)

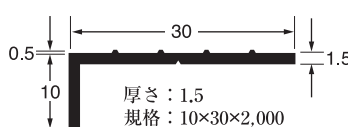
A-21



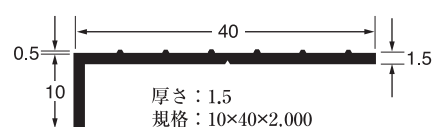
A-22



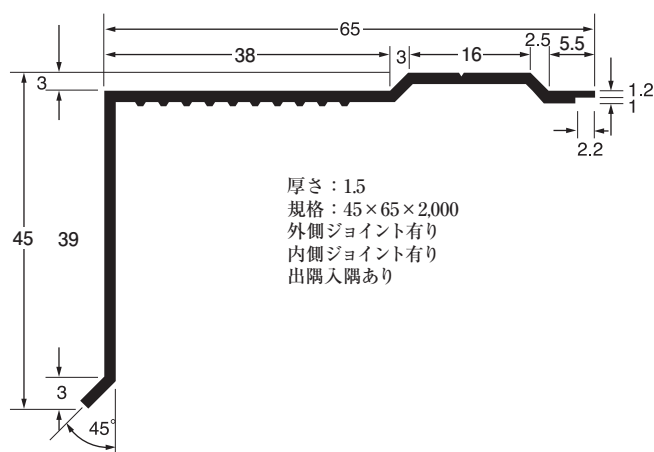
A-30



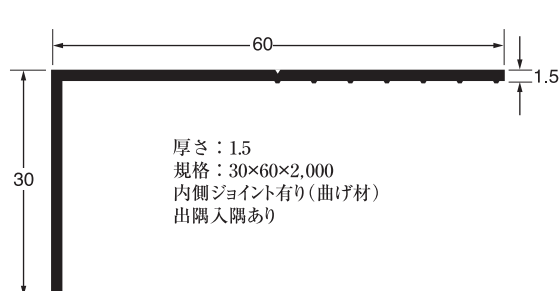
A-40



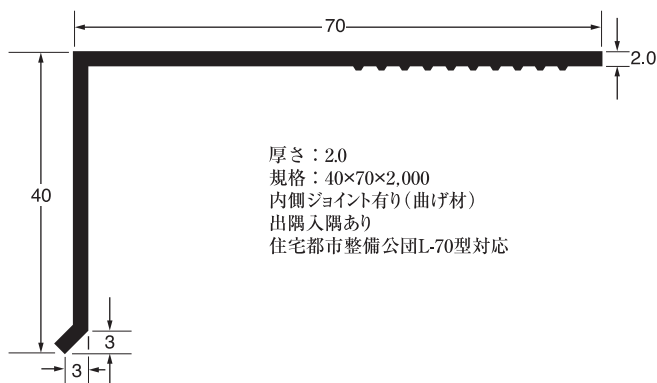
A-46



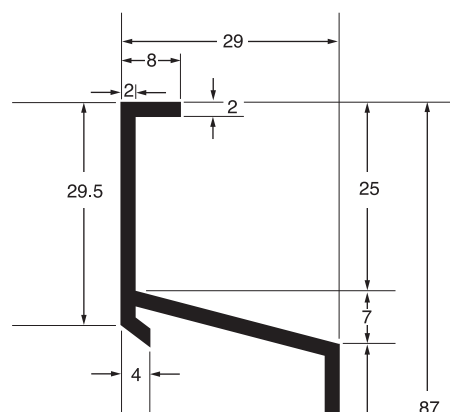
A-60



A-70



水切り材 (単位:mm)

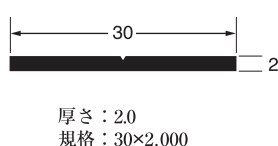


A-201

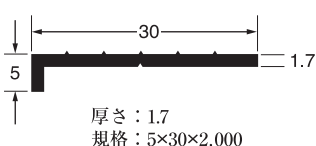
厚さ: 1.5
規格: 29×87×2,000
内側ジョイント有り(曲げ材)
出隅入隅あり
エンドキャップあり

アルミフラット (単位:mm)

F-3



F-5



防水保護マット

防水保護マット

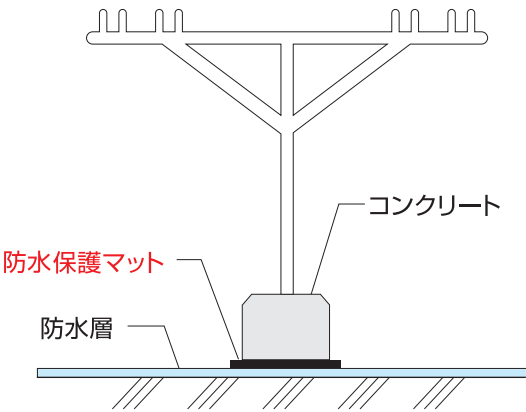
防水保護マットは、再生ゴムを利用した耐候性、耐水性に優れたゴムマットです。

防水保護マット



物干し台やエアコン室外機等の敷きゴムマットとして防水層を保護します。
寸法は、ご注文に応じて裁断加工致しますので
ご使用サイズをご下命下さい。

使用方法



標準サイズ

厚 さ	5mm・10mm・15mm・20mm
寸 法	1000×2000mm（最大） ※ご注文に応じて裁断加工致します
材 質	合成ゴム（天然ゴムもございます）

警 告

次の「取り扱い上の注意」をよく読み、理解してから使用してください。
不適切な保管や施工、及びメンテナンスは人身事故につながる危険があります。

取り扱い上の注意

保管上の注意

1. シートを長期間、井桁に積んだり縦に置くとシートの自重でシートにクセがついたり、シートの端部が潰れたようになり、シート展開時の施工が行いにくくなることがありますので注意してください。（バンドーシートSM-IIは必ず縦置きとしてください。）
2. バンドーシートCDEについて
 - 一巻のシートのうち残量が出た場合は、離型のフィルムを剥がさずに保管し、できるだけ早いうちに使いきってください。
 - 接着性能が充分発揮できるシート製造後3ヶ月以内に使用してください。
3. 副資材について
 - 右表に記載の副資材は危険物第4類第1石油類に該当し、取り扱いについて規制を受けます。各市町村の条例に従い、保管数量・取り扱い方法を遵守してください。又、これらの有機溶剤を含んだ材料をみだりに摂取、吸引したり、その目的の為に所持すると罰せられることがありますので注意してください。
 - 副資材は乾燥した冷暗所に保管してください。

商品名	危険物類別
プライマーB	第4類 第1石油類
プライマーR	
プライマーKR	
プライマーSS	
プライマーE-1	
接着剤B-75	
接着剤B-110	

- エマルション系を主成分とする材料は0℃以下の気温に放置すると凍結のおそれがありますのでご注意ください。
- 缶類は中身がこぼれないように開口部を上にして置き、破損しないように取り扱ってください。
- 一度開缶したものは、使いきってください。やむを得ず残った材料は完全密封し、できるだけ早い時期に使いきってください。

施工上の注意

1. ディスクの取り付けについて
 - ディスクの取り付けは建築基準法に基づく風圧力の値を満足するように必ず事前に引抜き強度を測定しピッチ、ビス長さ等を選定してください。
2. 天候について
 - 施工時の天候が降雨時、または降雨が予想される場合は施工を中止してください。
 - 強風で施工に支障のある場合は中断してください。
 - 防水下地が5℃未満の場合、シート間の接着が妨げられるおそれのある場合は、施工しないでください。
 - 密着仕様で施工する下地の水分にはご注意ください。降雨後、又はデッキプレート下地等は特に注意してください。
3. 下地について
 - 改修の場合は必要に応じて、適切な下地処理を行ってください。
 - 立上り部の既存防水層は原則として撤去してください。
4. 作業環境について
 - 通気の悪い場所（地下・室内等）での接着剤等有機溶剤の使用は避けてください。状況に応じて防爆型換気装置を設置してください。
 - 作業場所周辺は材料の飛散等により、汚れないようにあらかじめ養生してください。
5. 役物周りの処理について
 - 出・入隅角、役物周りについてはシール用テープG-300等で補強貼りを行ってください。
6. シート貼り付けについて
 - 接合部及び立上り部のシートの貼り付けはエアを巻きこまないように行ない、貼り付け後は十分に転圧してください。
 - シートの接合幅は必ず100mm以上としてください。機械的固定の接合幅は150mm以上としてください。
7. 不定形シーリング処理
 - 不定形シーリングは押え金物のビス類等、その他の必要な部分に打設してください。
8. 仕様について
 - 繊維補強シート及びバンドーシートは次の規格、仕様に適合しています。（適合するシートの種類、工法の詳細については、下記書類をご参照されるか別途お問い合わせください。）
 - ◆日本工業規格JIS A6008
 - ◆日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説」JASS8
 - ◆国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」S-M1、S-F1
9. ALC板下地について
 - 機械的固定工法はALC板の下地には使用しないでください。
10. プライマー、接着剤、ペイント類の扱いについて
 - プライマー、接着剤、ペイント類は使用前によく攪拌してください。
 - プライマー、接着剤、ペイント類で有機溶剤を含んだ製品を使用する場合には、安全と衛生に注意し、火気厳禁としてください。
11. プライマー、接着剤の塗布方法について
 - プライマー、接着剤は所定の塗布量と指触乾燥時間を守ってください。
 - 指触乾燥時間は、温度や湿度によって変わってきます。
 - プライマー塗布後、24時間以内に次工程を行ってください。プライマー塗布後、降雨等にさらされた場合は、再度プライマーを塗布してください。
12. トップコートについて
 - トップコートは色ムラのない様塗布してください。
 - トップコートは3～5年毎での塗り替えをおすすめいたします。（有料）

メンテナンス上の注意

- 1年に1度は屋根の掃除を行い、ドレン等の排水の詰まりが起きないようにしてください。
- 防水層の上に物を落とさないようにしてください。
- クギ、その他鋭角なもので防水層を傷つけないように注意してください。
- 防水層の補修は専門の防水業者にご依頼ください。
- 防水層の上で作業を行う場合は、損傷のないように必要に応じて養生を行ってください。
- 軽歩行の仕様は、通行人の多い通路や運動場として利用する場所には適合できません。点検等で歩行される場合は、ハイヒールやスパイクシューズ等の使用はご遠慮ください。
- その他、防水層に不具合を生じることがない様ご注意ください。



ホームページ <http://www.asahi-gomu.co.jp/>

生活資材営業部	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-22-1 パーカーコーポビル1F	TEL.(03) 5614-9395 FAX.(03) 3249-2832
東京営業所	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-22-1 パーカーコーポビル1F	TEL.(03) 5614-9395 FAX.(03) 3249-2832
名古屋営業所	〒464-0025 愛知県名古屋市千種区桜が丘295 第8オオタビル6F	TEL.(052) 856-1233 FAX.(052) 856-1236
大阪営業所	〒532-0002 大阪府大阪市淀川区東三国1-32-9 アルシュ240-801号	TEL.(06) 7668-0007 FAX.(06) 7668-0020
広島営業所	〒732-0805 広島県広島市南区東荒神町3-35 広島オフィスセンタービル	TEL.(082) 263-8242 FAX.(082) 261-8336
福岡営業所	〒821-0012 福岡県嘉麻市上山田211-48	TEL.(0948) 53-0332 FAX.(0948) 53-1102
本社工場	〒369-1242 埼玉県深谷市北根15番地	TEL.(048) 584-1111 FAX.(048) 584-1950

- 本書の記載内容は通常の使用状態におけるものであり、特殊な条件下での安全性・引用文献の内容・全ての生態影響の網羅を保証するものではありません。
- 使用におかれましては、適用法令に従うと共に製品安全データシート (MSDS) を参考に、自社の使用に即した取扱上の注意を検討確立し、安全に使用して頂きたいをお願い致します。



弊社は30年以上の実績を誇るシート防水材料の
優良メーカーの団体である当工業会の加盟会社です

KRK 合成高分子ルーフィング工業会

KRKホームページ <http://www.krkroof.net/>